

令和8年度

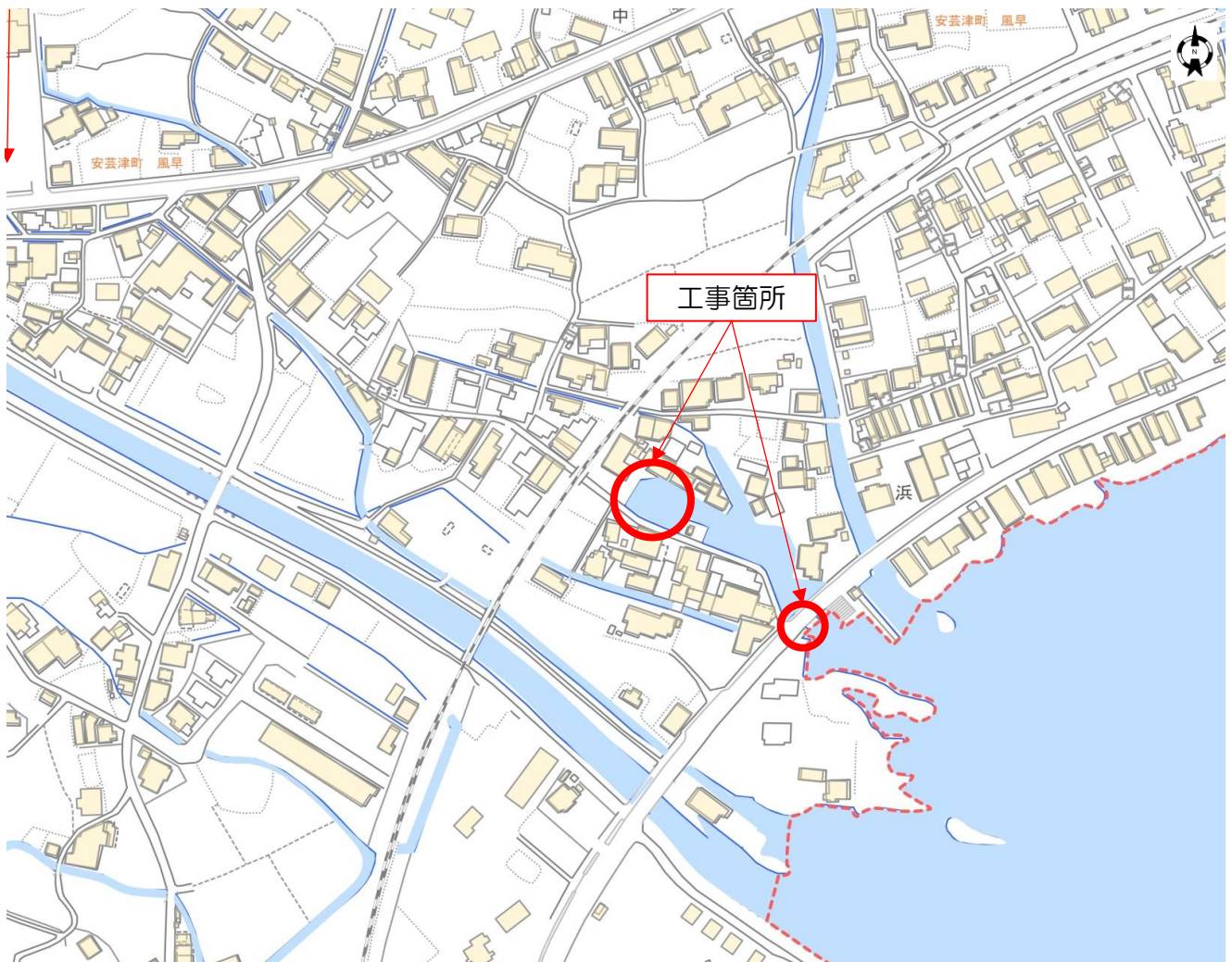
治水対策事業

吉末川護岸整備工事

仕様書

施 工 場 所 東広島市安芸津町風早

位置図



特 記 仕 様 書

(吉末川護岸整備工事)

第1章 総則

1. 適用
2. 現場代理人の兼務
3. 履行報告
4. 官公庁等への手続き等
5. 工事中情報共有システム（受注者希望型）
6. 熱中症対策に資する現場管理費の補正
7. 主任（監理）技術者及び現場代理人の配置について
8. 法定外の労災保険の付保
9. 週休2日適用工事等 週休2日
10. 建設副産物の取り扱いについて

第2章 工事材料

1. 見本・品質証明資料
2. 品質規格証明資料等
3. 溶融スラグを利用した資材の使用

第3章 施工条件

1. 安全対策
 - (1) 交通誘導警備員・警戒船・保安要員
 - (2) 架空線の防護管に要する費用について
2. 盛土・埋戻土
 - (1) 流用土(工事内流用)
 - (2) 購入土(搬入) (建設発生土リサイクルプラントが製造した処理土)
3. 建設副産物
 - (1) 建設発生土(搬出) (建設発生土リサイクルプラント、建設発生土受入地又は建設発生土受入地(一時たい積))
 - (2) アスファルト殻(搬出)
4. その他

第4章 その他

1. 工事関係書類
2. 工事写真
3. 疑義の解決等
4. 仮設工
5. 潮位対策

特記仕様書

第1章 総則

1. 適用

本工事の施工にあたっては、「土木工事共通仕様書（令和7年8月）広島版（適用区分「広島」及び「広島県」）」及び東広島市制定の第15編下水道編(最新版)に基づいて実施しなければならない。
この場合においては、次のとおりとする。

- (1) 「広島県」とあるのは「東広島市」と読み替える。（ただし、第1編第1章第1節1-1-1-26第10項、第1編第1章第2節1-1-2-1第3項、1-1-2-8第1項、1-1-2-9第1項、1-1-2-10第1項、1-1-2-11第1項、第6項、第8項、1-1-2-14第2項、1-1-2-16第1項、第3項、第2編第1章第3節2-1-3-1、第3編第1章第2節3-1-2-3第2項においては読み替えない。）
- (2) 「建設工事請負契約約款」とあるのは「東広島市の建設工事請負契約約款」と読み替える。
- (3) 「土木工事監督規程」とあるのは「東広島市建設工事監督事務取扱要綱」と読み替える。
- (4) 「土木工事検査規程」とあるのは「東広島市建設工事検査規程」と読み替える。
- (5) 「建設工事執行規則第19条の1」とあるのは「東広島市建設工事執行規則第19条第1項」と、「建設工事執行規則第41条の2」とあるのは「東広島市建設工事執行規則第41条第2項」と読み替える。
- (6) 「広島県契約規則第2条の1」とあるのは「東広島市契約規則第2条第1項」と読み替える。
- (7) 「土木工事検査技術基準」とあるのは「東広島市の「土木工事検査技術基準」」と読み替える。
- (8) 「低入札価格調査制度事務取扱要綱」とあるのは「東広島市低入札価格調査制度事務取扱要領」と読み替える。
- (9) 「広島県の建設工事入札参加資格」とあるのは「東広島市の競争入札参加資格」と読み替える。
- (10) 広島県の「建設業者等指名除外要綱」とあるのは東広島市の「建設業者等指名除外基準要綱」と「建設業者等指名除外要綱別表第18号」とあるのは東広島市の「建設業者等指名除外基準要綱別表第22号」と読み替える。
- (11) 「建設工事における低入札価格調査制度事務取扱要綱」とあるのは「東広島市低入札価格調査制度事務取扱要領」と、「建設工事における低入札価格調査制度事務取扱要綱第10条」とあるのは「東広島市低入札価格調査制度事務取扱要領第11条」と読み替える。
- (12) 「県発注工事等における暴力団排除のための契約制限要綱」とあるのは「東広島市建設工事暴力団等排除要綱」と読み替える。

(13) その他

編	章	節	条	見出し	項	特記及び追加仕様事項
1	1	2	5	工事の下請負	3から6まで	適用しない。
1	1	2	14	施工管理	1	適用しない。
1	1	2	16	環境対策	4	適用しない。
1	1	3	3	現場代理人及び主任技術者又は監理技術者	5から6まで	適用しない。
1	1	3	4	下請負及び契約の制限	1(2)	適用しない。
1	1	3	5	主要資材の購入		適用しない。
1	1	3	7	契約後VE工事		適用しない。
1	1	3	9	県産材の活用	(2)	適用しない。
1	1	3	10	工事現場の現場環境改善等		適用しない。
1	1	3	11	現場環境改善（ウィークリースタンス）の実施	(4)[2]から[7]まで	適用しない。
3	1	1	1	請負代金内訳書		適用しない。
3	1	1	2	工程表		適用しない。
3	1	1	7	工事完成図書の納品	2から6まで	適用しない。
3	1	1	8	技術検査	3から5まで	適用しない。
3	1	2	1	請負代金内訳書		適用しない。
3	1	2	2	工程表		適用しない。
3	1	2	5	工事完成図書の納品		適用しない。
3	1	2	6	提出書類	2	適用しない。
3	1	3	1	工事完成図書の納品		適用しない。
3	1	3	2	技術検査	2	適用しない。

2. 現場代理人の兼務

- 1 現場代理人の兼務については、「技術者等の適正配置について」によるものとする。
 - 2 発注者は、受注者からの申請に基づき、兼務する各工事の内容、工程等を勘案し、現場代理人の兼務について承認の適否を決定し、承認する場合は現場代理人兼務承認書により、承認しない場合は現場代理人兼務非承認書に承認しない理由を記載の上、速やかに受注者に通知する。
 - 3 発注者は現場代理人の兼務について、次に掲げる事由に該当すると認めたときは、現場代理人兼務承認取消書により、その承認を取消すものとする。
 - (1) 兼務を予定する工事の発注者が兼務を承認しないことが明らかになったとき
 - (2) 兼務を承認した日から起算して14日(東広島市の休日を含める条例(平成元年東広島市条例第6号)第1条第1項に規定する市の休日を除く。)を経過した後においても、兼務先の発注者が兼務を承認したことを証する書面の写しが提出されないとき
 - (3) 兼務申請において、重要な事項について虚偽の申告をし、又は重要な事実の申告を行わなかったことが判明したとき
 - (4) 兼務の承認後、重要な事項や重大な状況の変化について報告を行わない等、必要な報告を怠ったことが判明したとき
 - (5) 著しい状況の変化により、兼務を承認することが適当でなくなったとき
 - (6) その他、発注者が兼務を承認することが適当でなくなったとき
 - 4 重要な事項について虚偽の申告を行う等、不適切な申請を行った者、又は、兼務の承認後に重要な事項や重大な状況の変化について報告を行わない等、必要な報告を怠った者に対しては、請負契約に基づく是正措置の請求や指名除外等の必要な措置を行うことがある。
- ※ 同一町内における町とは西条町、八本松町、志和町又は高屋町にあっては昭和49年4月20日前の町の区域とし、黒瀬町、福富町、豊栄町、河内町又は安芸津町にあっては平成17年2月7日前の町の区域とする。

3. 履行報告

履行報告の提出にあたっては、実施工程表と平面図(施工済み箇所を着色)又は、進捗状況が確認できる写真を添付すること。なお、月締め報告とし、翌月7日までに提出すること。

4. 官公庁等への手続き等

受注者は、関係官公庁及びその他の関係機関との諸手続きにおいて許可、承諾等を得た場合はその書面(写し)を提出するものとし、更新手続き(許可内容が同じもの)の場合は、届出等の鑑のみとする。

5. 工事中情報共有システム(受注者希望型)

- (1) 本工事は、工事中情報共有システムの対象(受注者希望型)である。
 - (2) 工事中情報共有システムを利用するにあたり、発注者に連絡の上、利用申込すること。
 - (3) 本工事で使用する情報共有システムは次のとおり。

広島県工事中情報共有システム(一般社団法人 広島県土木協会)

<http://www.hdobokuk.or.jp/koujijyouhoushisutemu2.html>
 - (4) 工事中情報共有システム利用に必要な費用は設計金額に含まれている。
 - (5) 利用にあたっては「東広島市発注工事における広島県工事中情報共有システム利用実施要領」に基づくこと。
 - (6) 運用にあたっては「広島県工事中情報共有システム運用ガイドライン」に基づくこと。
- この場合においては、次のとおりとする。

- 1) 「1.3.適用する基準」のうち、「土木工事監督規定(広島県)」および「土木工事監督実施要領(広島県)」は「東広島市建設工事監督事務取扱要綱」と、「土木工事検査規定(広島県)」とあるのは「東広島市建設工事検査規定」と、「土木工事検査技術基準(広島県)」とあるのは「土木工事検査技術基準(東広島市)」と読み替えるものとする。
- 2) 「CAD製図基準(国土交通省)」および「CAD製図基準に関する運用ガイドライン(国土交通省)」は適用しない。
- 3) 「4.検査」は適用しない。
- 4) 検査は、発注者と協議のうえ、紙媒体による検査と電子検査の併用とすることができるものとする。
- 5) 受注者は、工事中情報共有システムにより処理した工事完成図について、電子成果品として納品するほか、紙の成果品も納品すること。

6. 熱中症対策に資する現場管理費の補正

- (1) 本工事は、工事現場の熱中症対策に資する経費に関して、現場管理費の補正を行う工事である。
- (2) 工期(工事の始期日から工事の終期日までの期間で、準備期間、施工に必要な実日数、不稼働日、後片付け期間の合計をいう。なお、検査期間13日、年末年始6日間(12月29日～1月3日)、夏季休暇3日間(国民の祝日である山の日次の日から土曜日、日曜日、振替休日を除く3日間とする。)、工場制作のみを実施している期間、工事全体を一時中止している期間は含まない。)期間中の真夏日の状況に応じて、変更契約時に現場管理費の補正を行うものとする。
- (3) 真夏日とは、日最高気温が30度以上の日をいう。また、日最高暑さ指数(WBGT)が25度以上の日をいう。
ただし、夜間工事のみの場合は、作業時間帯の最高気温または最高暑さ指数(WBGT)を対象とする。
- (4) 気温の計測箇所及び結果は、施工現場から最寄りの気象庁の地上気象観測所の気温または環境省が公表している観測地点の暑さ指数(WBGT)を用いることを標準とする。
- (5) 受注者は、工事期間中における気温の計測箇所、用いる計測値及び計測期間(計測開始日、計測終了予定日)を明記した施工計画書を工事着手前に提出し、計測結果を工事完成時までに監督職員に提出すること。
- (6) 受注者は、計測終了日について、工事完成時までに監督職員と協議するものとする。
- (7) 積算方法は次のとおりとする。
 - 1) 補正方法
 - ア 受注者より提出された計測結果の資料を基に、補正値を算出し現場管理費率に加算する。
なお、現場管理費率の補正は「積雪寒冷地域で施工時期が冬期となる場合の補正」、「緊急工事の場合」及び本補正値を合計し、2%を上限とする。
 - イ 真夏日率＝工期期間中の真夏日÷工期
 - ウ 補正値(%)＝真夏日率×1.2
 - 2) 補正値の計算結果は、パーセント表示で小数点3位を四捨五入して2位止めとする。
- (8) 受注者より、熱中症対策に資する現場管理費の補正が不要である旨の協議があった場合は、補正を行う工事から対象外とすることができる。
- (9) 検査職員から修補の指示があった場合、修補期間は対象外とする。

7. 主任(監理)技術者及び現場代理人の配置について

東広島市発注工事における主任(監理)技術者及び現場代理人の配置についての取り扱いは、「技術者等の適正配置について」によるものとする。

8. 法定外の労災保険の付保

- 1 本工事において、受注者は法定外の労災保険に付さなければならない。
- 2 受注者は、建設工事請負契約約款第47条に基づき、法定外の労災保険の契約締結をしたときは、その証券又はこれに代わるものを速やかに監督職員に提示しなければならない。
- 3 法定外の労災保険は、政府の労働者災害補償保険とは別に上乗せ給付等を行うことを目的とするものであり、(公財)建設業福祉共済団、(一社)全国建設業労災互助会、全日本火災共済協同組合連合会、(一社)全国労働保険事務組合連合会又は保険会社との間で、契約を締結しているものとする。

9. 週休2日適用工事等 週休2日

本工事は、週休2日適用工事(発注者指定型)であり、「東広島市週休2日適用工事等実施要領(最新版)」に従うこと。

なお、実施要領に基づき提出する必要がある様式「休日取得計画表」は「検査課HP>施工関連資料>週休2日適用工事等の実施について」に掲載している。

10. 建設副産物の取り扱いについて

本工事における建設副産物の取扱いについては、土木工事共通仕様書1-1-2-11 建設副産物のとおり取り扱うこととする。なお、「再生資源利用計画」、「再生資源利用促進計画」及び「実施書の提出」については、次のとおりとする。

- 1 再生資源利用計画及び再生資源利用促進計画

受注者は、コンクリート、コンクリート及び鉄から成る建設資材、木材、アスファルト混合物等を工事現場に搬入する場合には、法令に基づき、再生資源利用計画を作成し、施工計画書に含め監督職員に提出しなければならない。また、受注者は、建設発生土、コンクリート塊、アスファルト・コンクリート塊、建設発生木材、建設汚泥又は建設混合廃棄物等を工事現場から搬出する場合には、法令に基づき、再生資源利用促進計画（5の確認結果票を含む）を作成し、施工計画書に含め監督職員に提出しなければならない。なお、その内容に変更が生じたときは、速やかに利用計画及び促進計画を変更し、監督職員に報告しなければならない。

2 計画の掲示及び公表

受注者は、1の再生資源利用計画及び再生資源利用促進計画を工事現場の見やすい場所に掲示（デジタルサイネージによる掲示も可）し、公衆の閲覧に供するとともに、インターネットの利用により公表するよう努めるものとする。

現場掲示様式については、次のURLを参考に作成すること。

https://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/region/recycle/d03project/d0306/page_03060101credas1top.htm

3 実施書の提出

受注者は、再生資源利用計画及び再生資源利用促進計画を作成した場合には、工事完了後速やかに実施状況を記録した再生資源利用実施書及び再生資源利用促進実施書を監督職員に提出しなければならない。なお、受注者は、再生資源利用実施書及び再生資源利用促進実施書の作成後、工事完成から5年間保存しなければならない。

4 工事現場の管理体制

受注者は、再生利用の促進を行うため、工事現場における建設副産物責任者を置くことにより、管理体制を整備するとともに、当該責任者に対し、再生資源利用計画及び再生資源利用促進計画の内容について現場担当者の教育を十分行うこと及び、関係する他の施工者及び資材納入業者もこれを周知徹底することを指導するものとする。

5 建設発生土搬出に関する関係法令の手続きの確認及び確認結果票の作成

受注者は、再生資源利用促進計画の作成にあたり、建設発生土を工事現場から搬出する場合は、あらかじめ次に掲げる事項を確認し、また各事項の確認の結果を記載した書面（確認結果票）を作成しなければならない。

※確認結果票は「広島県の調達情報」に掲載している。

なお、対象となる工事は請負代金額が100万円以上、または建設発生土の搬出が500m³以上の工事を対象とする。

(1) 工事現場内の土地の掘削その他の土地の形質の変更が土壌汚染対策法（平成14年法律第53号）第3条第7項又は第4条第1項の規定による届出を要する場合にあっては、当該届出がされている。

(2) 再生資源利用促進計画に記載しようとする搬出先における建設発生土の搬入に係る行為に関する次に掲げる事項

(1) 当該行為が宅地造成及び特定盛土等規制法（昭和36年法律第191号。以下「盛土規制法」という）第12条第1項、第16条第1項、第30条第1項又は第35条第1項の規定による許可を要する場合にあっては、当該許可を受けている。

(2) 当該行為が盛土規制法第21条第1項、第27条第1項、第28条第1項又は第40条第1項の規定による届出を要する場合にあっては、当該届出がされている。

(3) 上記(1)、(2)に掲げる事項のほか、再生資源利用促進計画に記載しようとする搬出先が適正であることを確認するために必要な事項その他の建設発生土の搬出に関する事項

6 運搬業者への通知

受注者は、建設発生土の運搬を行う者に対し、再生資源利用促進計画及び確認結果票の内容を通知するものとする。またその内容に変更が生じたときには、速やかに運搬を行う者に通知するものとする。

7 確認結果票の掲示及び公表

受注者は、確認結果票を工事現場の見やすい場所に掲示（デジタルサイネージによる掲示も可）し、公衆の閲覧に供するとともに、インターネットの利用により公表するよう努めるものとする。

8 確認結果票の保管

受注者は、確認結果票を建設工事の完成後5年間保存するものとする。

9 建設発生土の搬出先に対する受領書の交付請求

受注者は、建設発生土を再生資源利用促進計画に記載した搬出先へ搬出したときは、速やかに当該搬出先の管理者（搬出先が工事現場である場合は、当該工事現場の受注者）に対し、次に掲

げる事項を記載した受領書の交付を求めるものとする。

- (1) 建設発生土の搬出先の名称（搬出先が工事現場である場合は、建設工事の名称。）及び所在地
- (2) 建設発生土の搬出先の受注者の商号、名称又は氏名
- (3) 建設発生土の搬出元の名称及び所在地
- (4) 建設発生土の搬出量
- (5) 建設発生土の搬出が完了した日

10 建設発生土の搬入元への受領書の交付

受注者は、建設発生土を利用計画に記載した搬入元から搬入したときは、速やかに当該搬入元の管理者（搬入元が工事現場である場合は、当該工事現場の受注者）に対し、前号に掲げる事項を記載した受領書を交付するものとする。

11 受領書の内容確認

受注者は、搬出先から受領書の交付を受けたときは、再生資源利用促進計画に記載した内容と一致することを確認する。

12 受領書の保管

受注者は、受領書又はその写しを建設工事の完成後5年間保存するものとする。

13 建設発生土の最終搬出先までの確認

受注者は、建設発生土が再生資源利用促進計画に記載した搬出先（次の(1)から(4)のいずれかに該当する搬出先を除く。）から他の搬出先へ搬出されたときは、速やかに、当該他の搬出先への搬出に関する9(1)～(5)に関する事項を記載した書面を作成するとともに、当該書面を当該再生資源利用促進計画に係る建設工事の完成後5年間保存するものとする。建設発生土が更に他の搬出先へ搬出されたときも、同様とする。

- (1) 国又は地方公共団体が管理する場所であって、受入れ完了後に当該国又は地方公共団体が受領書を交付する場合
- (2) 受注者の管理下にある他の工事現場で利用するために一時堆積する場合
- (3) スtockヤード運営事業者登録規定により国に登録されたStockヤード
- (4) 9の受領書の土砂の利用種別が「盛土利用等」である建設発生土受入地（再搬出しないもの）

第2章 工事材料

1. 見本・品質証明資料

受注者は、次に示す材料又は監督職員が指示する材料について、見本又は品質を証明する資料を、材料を使用するまでに監督職員に提出するものとする。また、材料の購入は監督職員の確認を受けた後に行うものとする。

区 分	材 料 名	摘 要
その他	レディーミクストコンクリート	
	アスファルト混合物	事前審査制度の認定混合物を除く

2. 品質規格証明資料等

受注者は、工事に使用した次に示す材料又は監督職員が指示する材料の品質を証明する試験成績表、性能試験結果、ミルシート等の品質規格証明書を監督職員に提出するものとする。

区 分	材 料 名	摘 要
その他	レディーミクストコンクリート	
	アスファルト混合物	事前審査制度の認定混合物を除く

3. 熔融スラグを利用した資材の使用

1. 熔融スラグを利用した資材の使用

再生加熱アスファルト混合物、プレキャストコンクリート製品、再生路盤材及び埋戻材等については、広島中央環境衛生組合が製造する熔融スラグ（以下「熔融スラグ」という。）を利用した資材を使用するよう努めるものとする。熔融スラグ利用及び使用する資材にあたっては「熔融スラグの有効利用促進等に関する方針」「熔融スラグ有効利用ガイドライン【品質編】、【運用編】」に準拠するものとする。なお、これにより難しい場合は、監督職員と協議すること。

2. 品質管理及び確認

1. で示したもののほか、熔融スラグを利用した資材の使用における品質の管理及び確認は、広島版「土木工事共通仕様書(令和7年8月)」及び広島版「施工管理基準(令和7年8月)」によるものとする。ただし、書類により品質が確保できる項目においても、監督職員が必要と認めるも

のは現場検収を実施できるものとする。

3. 再生加熱アスファルト混合物への使用

溶融スラグを再生加熱アスファルト混合物に使用する場合、広島版「土木工事共通仕様書（令和7年8月）」の「1-1-2-16 環境対策」に示す登録リサイクル製品の使用は適用しないものとする。

4. 適合規格

溶融スラグの適合規格については、広島版「土木工事共通仕様書（令和7年8月）」に記載の適合規格（「2-2-3-1 一般事項 1.」）ではなく、「JIS A 5031 一般廃棄物、下水汚泥又はそれらの焼却灰を溶融固化したコンクリート用溶融スラグ骨材」を適用するものとする。

第3章 施工条件

1. 安全対策

(1) 交通誘導警備員・警戒船・保安要員

交通誘導警備員 ・ 交通誘導警備員の配置人数は、工事着手後、規制を要する日から2日間（3人／日）を見込んでいます。ただし、現場条件の変更等により、交通誘導警備員の人数変更が必要となった場合には、事前に監督職員と協議を行った上で変更対象とする。

工 種	配置場所	配置人数	施工時間	備 考
舗装工	排水機場進入道路	交通誘導員A 1人/日 交通誘導員B 2人/日	9時～16時	歩道規制

(2) 架空線の防護管に要する費用について

工事区域上空の架空線の防護管に要する費用については、現在見込んでいない。

架空線に近接した工事の施工に当たって、架空線管理者又は防護管施工会社（以下、「架空線管理者等」という）との協議により、架空線管理者等から防護管に要する費用負担を求められた場合、工事打合せ簿により監督職員と協議し、設計変更の対象とする。

設計変更の対象として認められる場合は、架空線管理者等からの見積書を提出すること。

2. 盛土・埋戻土

(1) 流用土（工事内流用）

本工事の施工により発生する土のうち、45m³（地山土量）については当該工事の施工に流用するものと見込んでいる。

(2) 購入土（搬入）（建設発生土リサイクルプラントが製造した処理土）

本工事では、17m³（ほぐし）の土砂購入を見込んでいる。

① 当該工事に使用する購入土は、建設発生土処分先一覧表に掲載された建設発生土リサイクルプラントが製造した処理土（改良土を含む。）を使用するものとする。積算にあたっては、運搬費と処理土購入費（工場渡し）の合計が最も経済的になるものを見込んでいる。したがって、正当な理由がある場合を除き購入土に要する費用（単価）は変更しない。

② ①により使用することとしている処理土について、何らかの事情によりその使用が困難である場合は、設計図書の内容について監督職員と協議すること。

③ 使用する処理土がセメント及びセメント系固化材を使用した改良土の場合、「セメント及びセメント系固化材を使用した改良土の六価クロム溶出試験実施要領（案）」に基づき、建設発生土リサイクルプラントから試験結果の提示を受けるとともに、施工後に六価クロム溶出試験を実施し、試験結果（計量証明書）を提出するものとする。

3. 建設副産物

(1) 建設発生土（搬出）（建設発生土リサイクルプラント、建設発生土受入地又は建設発生土受入地（一時たい積））

当該工事により発生する建設発生土は、公の関与する埋立地、建設発生土処分先一覧表に掲載されている建設発生土リサイクルプラント、建設発生土受入地又は建設発生土受入地（一時たい積）のいずれかに搬出するものとする。また、搬出先として、運搬費と受入費（平日の受入費用）の合計が最も経済的になる建設発生土リサイクルプラント、建設発生土受入地又は建設発生土受入地（一時たい積）を見込んでいる。したがって、正当な理由がある場合を除き残土処分に要する費用（単価）は変更しない。

ただし、災害復旧工事において、市が公募により決定した「災害発生土民間受入先」と受入について土質や搬出スケジュール等の協議が整えば、搬出先を「災害発生土民間受入先」に変更す

る場合がある。

当該工事で見込んでいる再資源化施設、運搬距離

(名称) 株式会社中岡建設リサイクルプラント

(所在地) 東広島市安芸津町木谷1218-7

(運搬距離) 4.3 k m

(2) アスファルト殻(搬出)

当該工事により発生するアスファルト殻は、広島県制定の再資源化施設一覧表に掲載されている施設に搬出するものとする。

搬出先として、運搬費と受入費(平日の受入費用)の合計が最も経済的になる再資源化施設を見込んでいる。したがって、正当な理由がある場合を除き処分に要する費用(単価)は変更しない。

また、運搬距離は 3.9 k m を見込んでいる。

4. その他

舗装工は歩道内で施工を行うこと。

第4章 その他

1. 工事関係書類

(1) 工事関係書類の作成は、東広島市建設工事関係書類作成要領「土木工事編」によるものとする。

(2) 工事関係書類の提出は、「契約関係書類」1部、「施工管理書類」は、工事打合せ簿による場合は2部、その他による場合は1部とする。

2. 工事写真

工事写真の撮影に当っては、広島県制定「写真管理基準（令和7年8月）」によるものとし、納品に当っては、電子媒体又は紙媒体、情報共有システム登録のいずれかと、紙媒体のダイジェスト版(着手前及び完成、主たる工種の施工状況)とする。

なお、電子納品物は「広島県電子納品実施要領」に準拠し、作成すること。

3. 疑義の解決等

本特記仕様書及び設計図書に明示していない事項または、その内容に疑義が生じた場合は、監督職員と協議し決定すること。

4. 仮設工

仮設工（任意）については、事前に設置方法を施工計画書にまとめ、監督職員へ提出すること。

なお、仮設方法については、正当な理由がある場合は、請負代金額の変更対象とする。

5. 潮位対策

潮位により施工基面が水没する時間帯があるため、吉末川河口排水機場の稼働を可とする。

工事数量総括表

頁0 -0001

費目・工種明細など	規格1・規格2	単位		数量	備考
本工事費					
築堤・護岸		式		1	レベル1
河川土工		式		1	レベル2
掘削工		式		1	レベル3
掘削	土砂	m3		50	レベル4
盛土工		式		1	レベル3
積込(ルーズ)	土砂	m3		30	レベル4
法覆護岸工		式		1	レベル2
作業土工		式		1	レベル3
床掘り	土砂	式		1	レベル4
埋戻し	土砂	式		1	レベル4
法面整形(切土部)	レキ質土,砂及び砂質土,粘性土	m2		30	レベル4
根継工		式		1	レベル3
根継工	18-8-40BB	m		12	レベル4
小型水路工		式		1	レベル2
管渠工		式		1	レベル3
暗渠排水管	硬質ポリ塩化ビニル管 VP 呼び径50mm	m		1	レベル4
構造物撤去工		式		1	レベル2

工事数量総括表

頁0 -0002

費目・工種明細など	規格1・規格2	単位		数量	備考
防護柵撤去工		式		1	レベル3
防護柵撤去(ガードレール)		m		5	レベル4
構造物取壊し工		式		1	レベル3
舗装版切断	アスファルト舗装版厚15cm以下	式		1	レベル4
舗装版破碎	アスファルト舗装版 舗装版厚15cm以下	m2		54	レベル4
運搬処理工		式		1	レベル3
殻運搬	アスファルト殻	m3		5	レベル4
殻処分	アスファルト殻	t		13	レベル4
仮設工		式		1	レベル2
水替工		式		1	レベル3
舗装		式		1	レベル1
道路土工		式		1	レベル2
掘削工		式		1	レベル3
掘削	土砂	m3		3	レベル4
残土処理工		式		1	レベル3
土砂等運搬	土砂	m3		3	レベル4
残土等処分	土砂	m3		3	レベル4
舗装工		式		1	レベル2

工事数量総括表

頁0 -0003

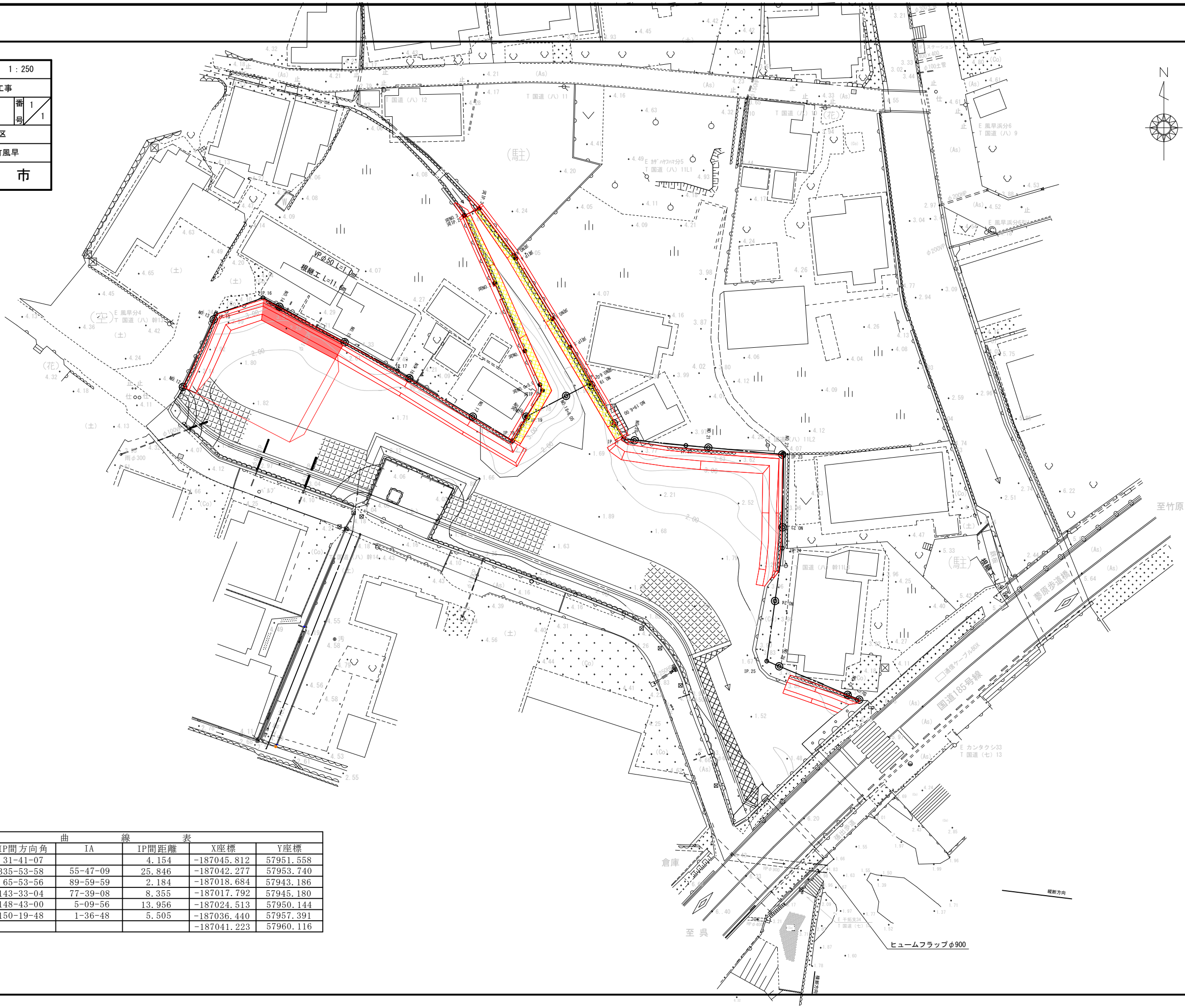
費目・工種明細など	規格1・規格2	単位		数量	備考
アスファルト舗装工		式		1	レベル3
上層路盤(車道・路肩部)	再生瀝青安定処理材 t=5cm	m2		54	レベル4
基層(歩道部)	再生粗粒度As20 t=5cm	m2		54	レベル4
表層(歩道部)	再生密粒度As13 t=5cm	m2		54	レベル4
仮設工		式		1	レベル2
交通管理工		式		1	レベル3
交通誘導警備員		人		6	レベル4
工事用道路		式		1	レベル3
工事用道路		式		1	レベル4
* * 直接工事費 * *					
共通仮設費率分					
* * 共通仮設費計 * *					
* * 純工事費 * *					
現場管理費					
* * 工事原価 * *					
一般管理費率分					
契約保証費					
一般管理費計					

工事数量総括表

頁0 -0004

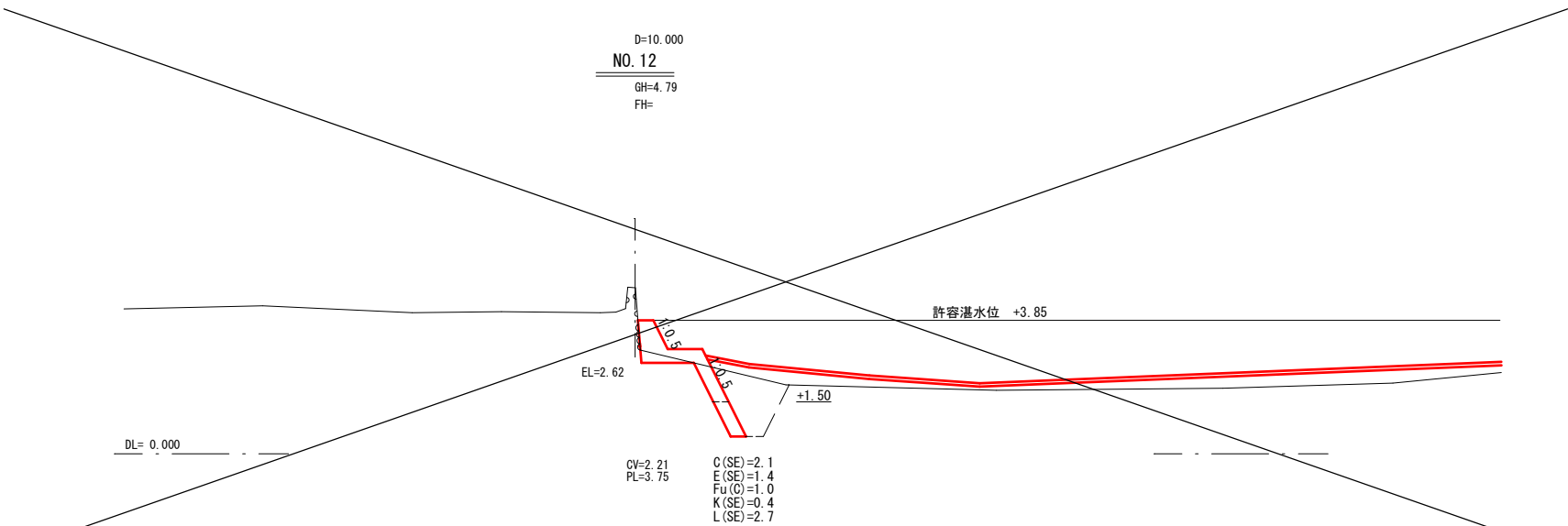
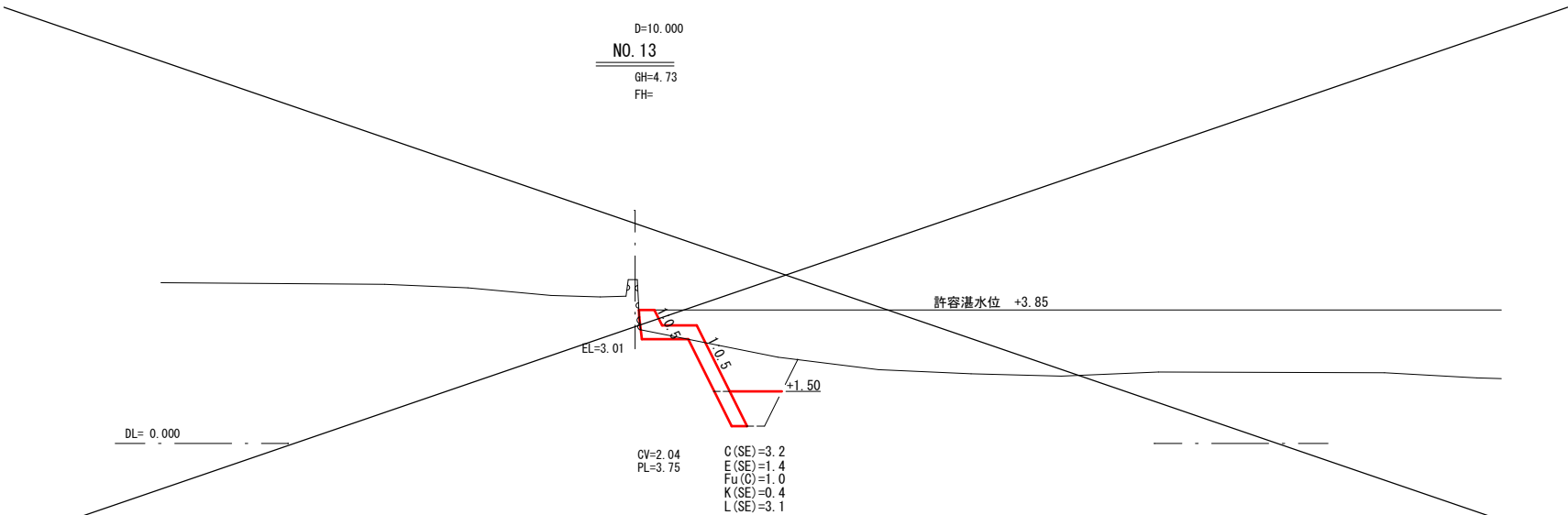
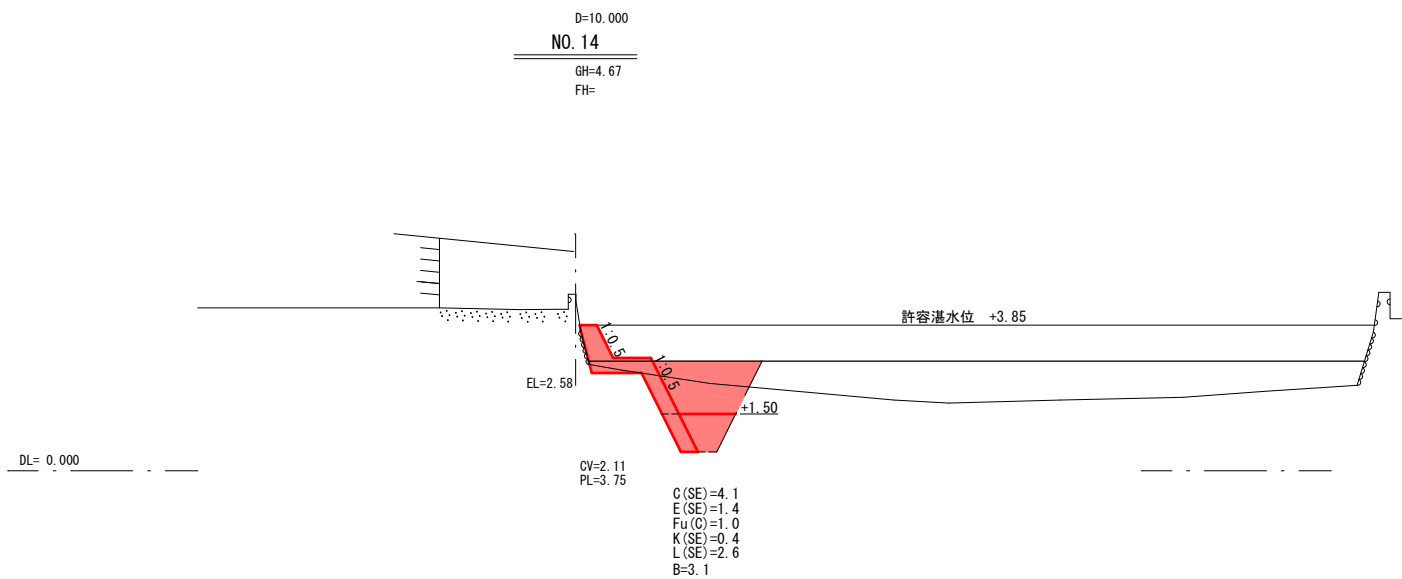
[illegible]

図面番号	1 / 7	縮 尺	1 : 250
工 種	吉末川護岸整備工事		
種 別	平 面 図	番 号	1 / 1
地 区 名	風 早 地 区		
工事箇所	東広島市安芸津町風早		
東 広 島 市			

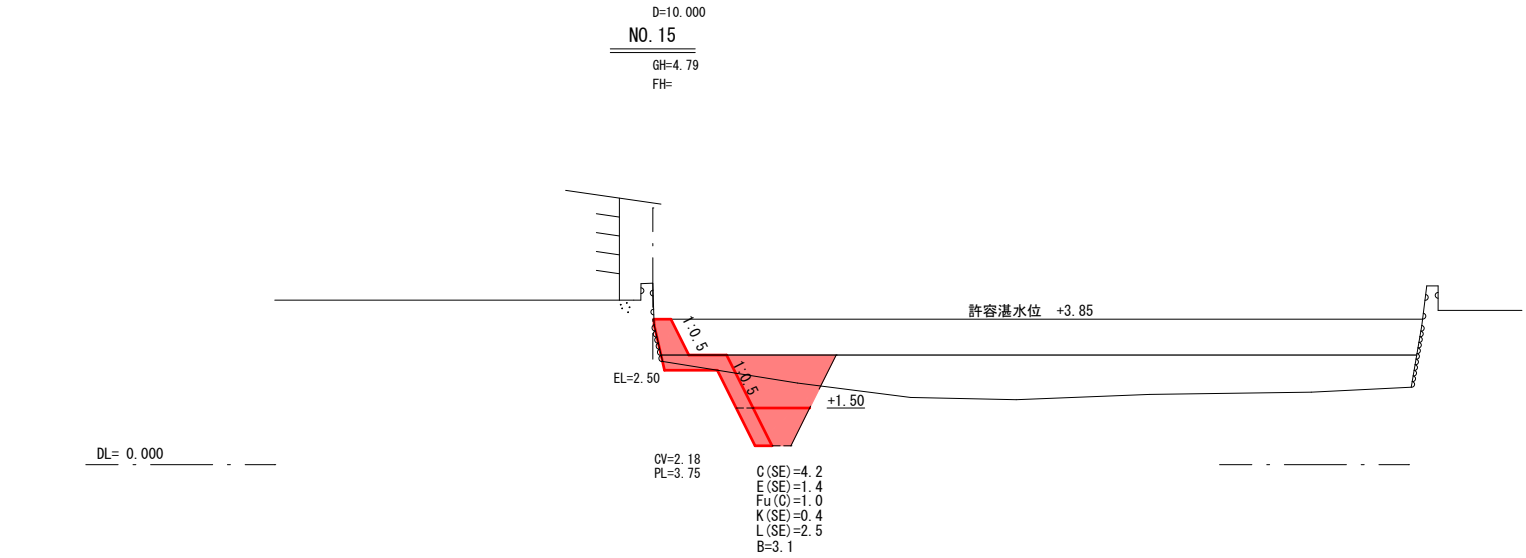
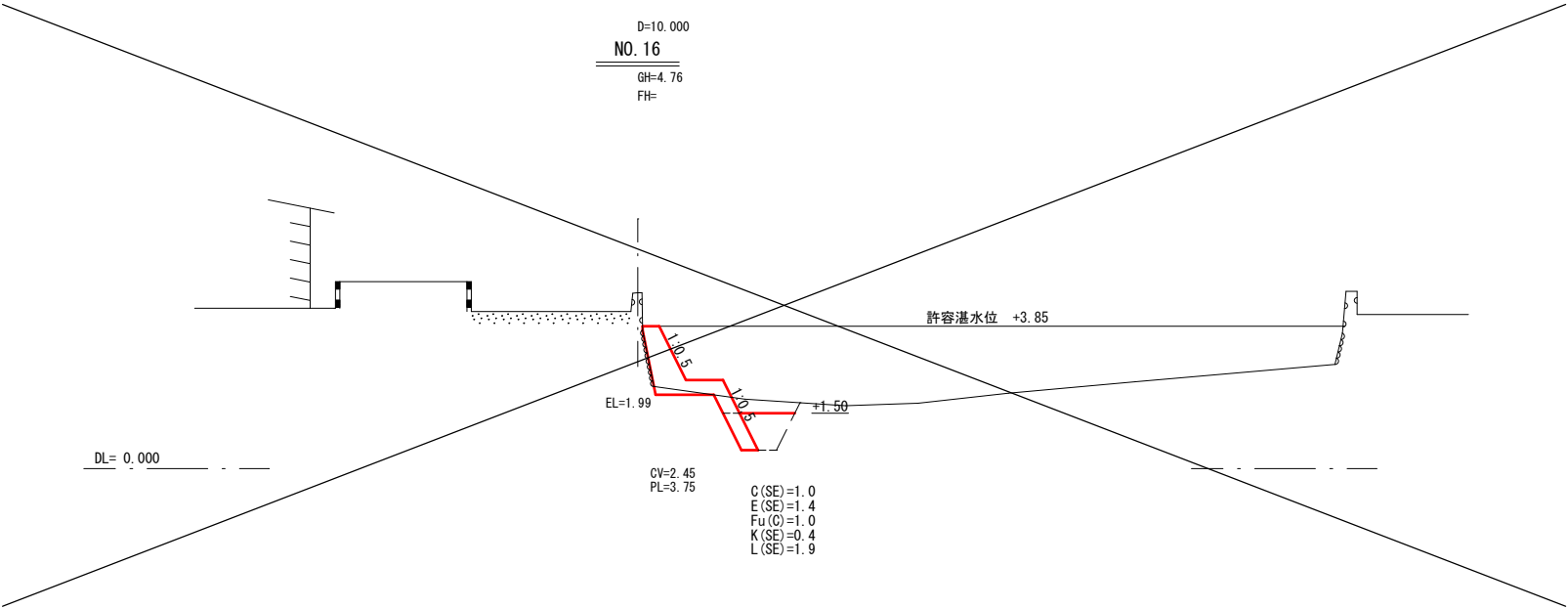
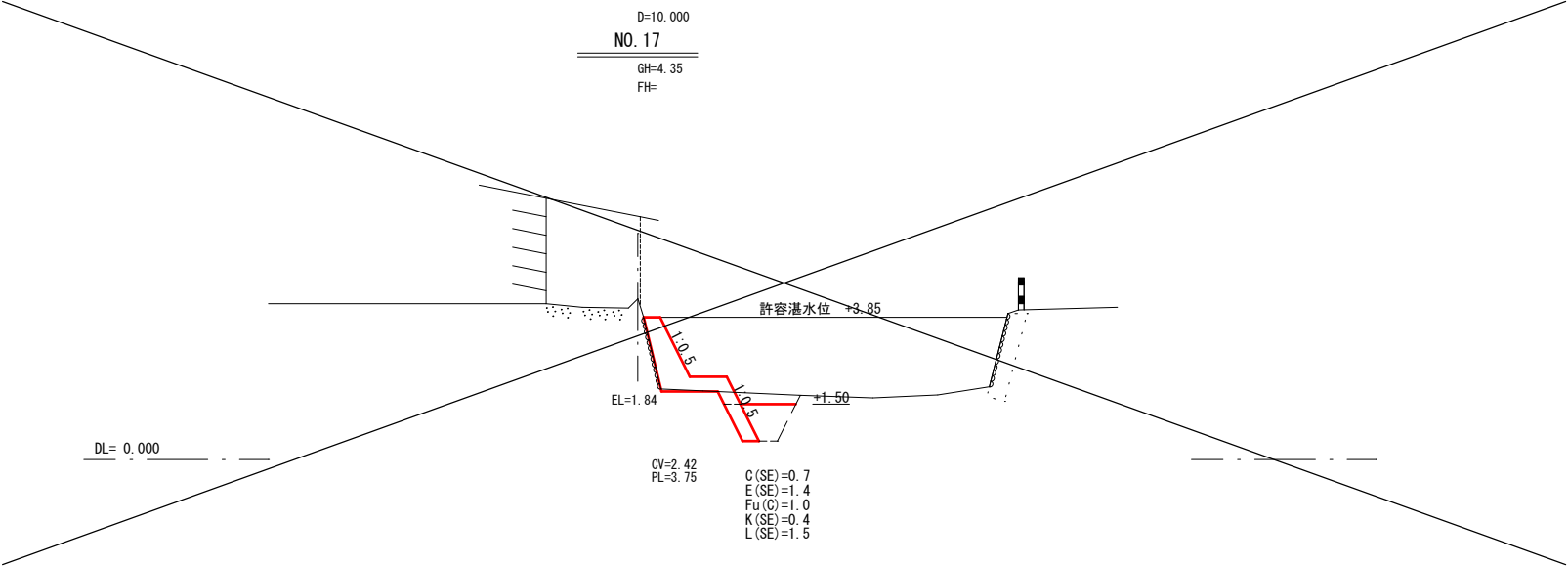


曲線表					
IP	IP間方向角	IA	IP間距離	X座標	Y座標
河NO.0	31-41-07		4.154	-187045.812	57951.558
河IP.1	335-53-58	55-47-09	25.846	-187042.277	57953.740
河IP.2	65-53-56	89-59-59	2.184	-187018.684	57943.186
河IP.3	143-33-04	77-39-08	8.355	-187017.792	57945.180
河IP.4	148-43-00	5-09-56	13.956	-187024.513	57950.144
河IP.5	150-19-48	1-36-48	5.505	-187036.440	57957.391
河NO.6				-187041.223	57960.116

図面番号	2 / 7	縮 尺	1 : 100
工 種	吉末川護岸整備工事		
種 別	道 路 横 断 面 図	番 号	1 / 6
地 区 名	風 早 地 区		
工事箇所	東広島市安芸津町風早		
東 広 島 市			

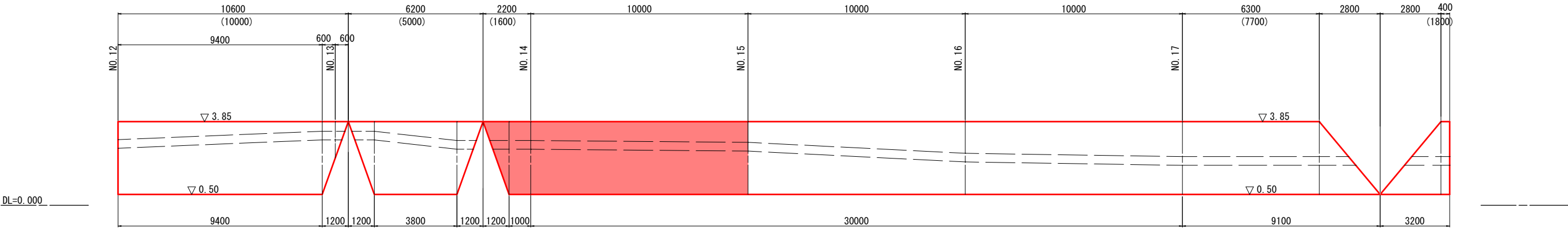


図面番号	3 / 7	縮 尺	1 : 100
工 種	吉末川護岸整備工事		
種 別	道 路 横 断 面 図	番 号	3 / 6
地 区 名	風 早 地 区		
工事箇所	東広島市安芸津町風早		
東 広 島 市			

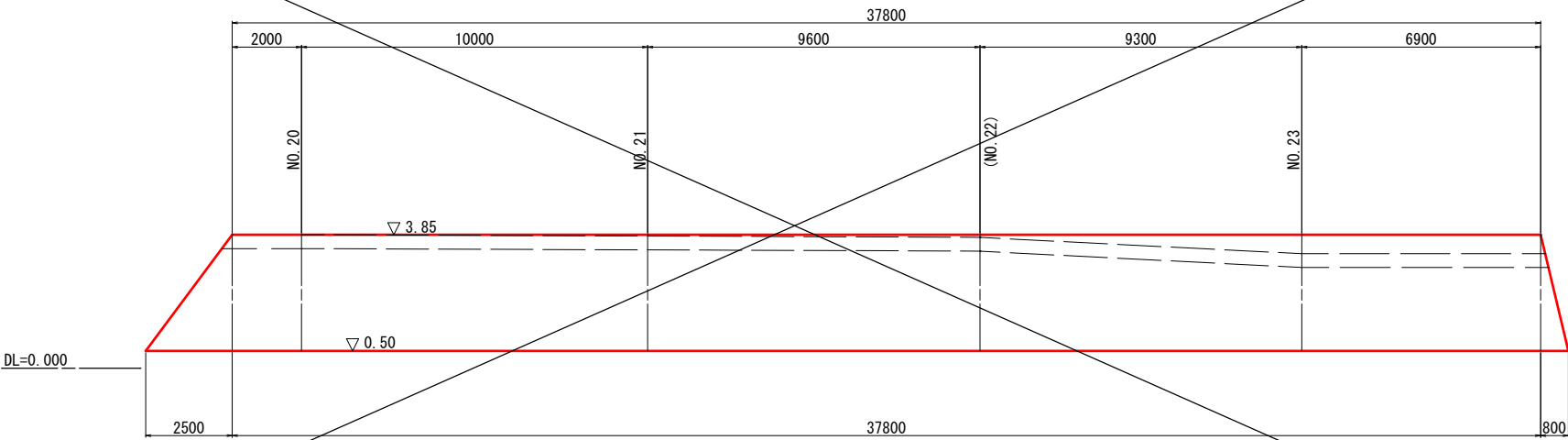


図面番号	4 / 7	縮 尺	1 : 100
工 種	吉末川護岸整備工事		
種 別	展 開 図	番 号	1 / 2
地 区 名	風 早 地 区		
工事箇所	東広島市安芸津町風早		
東 広 島 市			

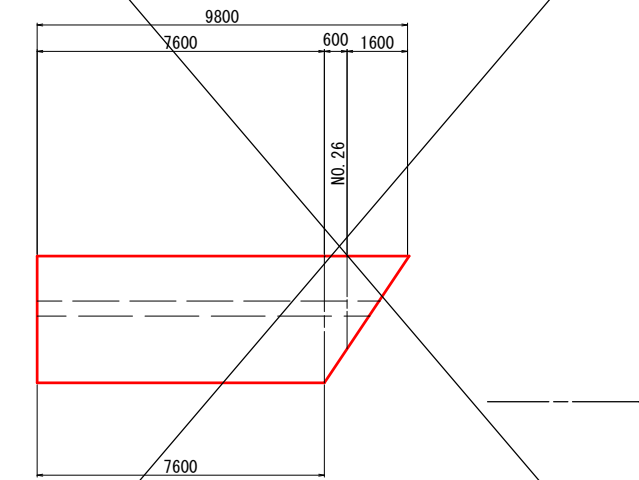
根継工展開図



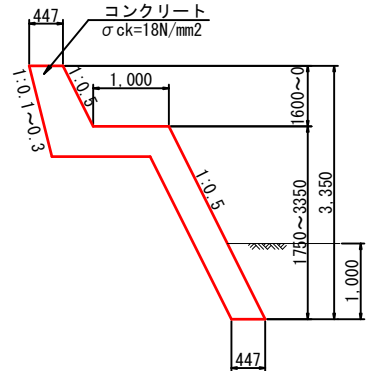
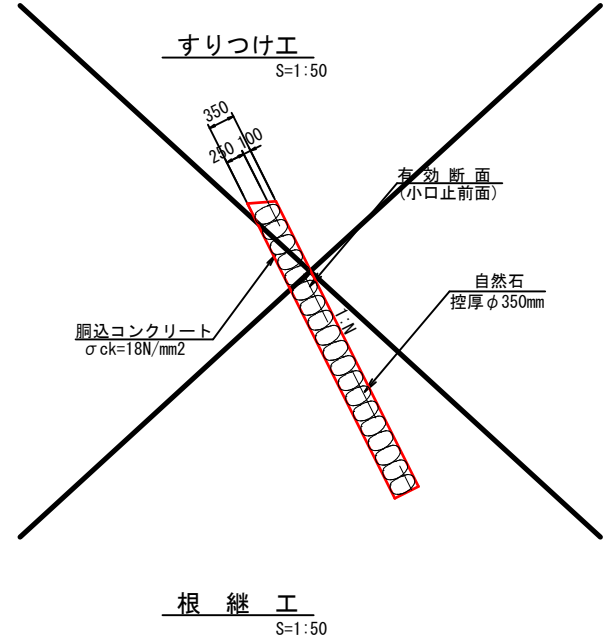
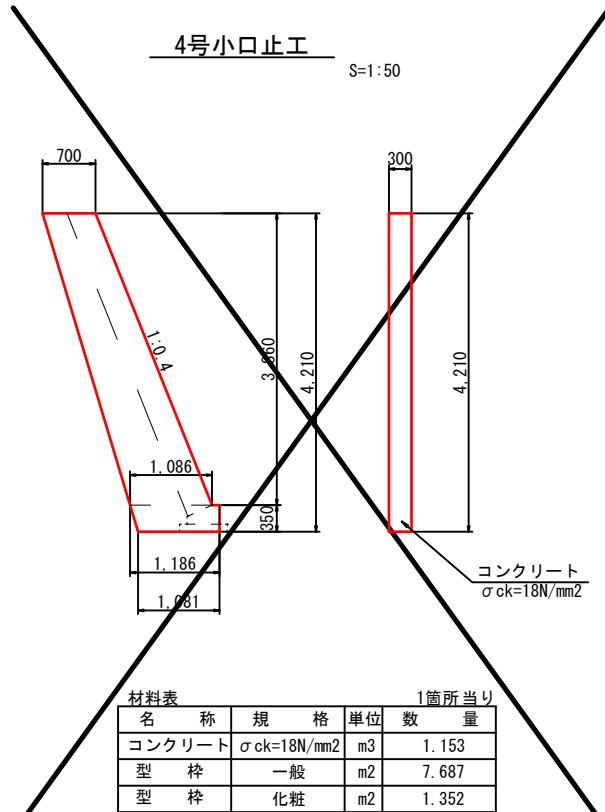
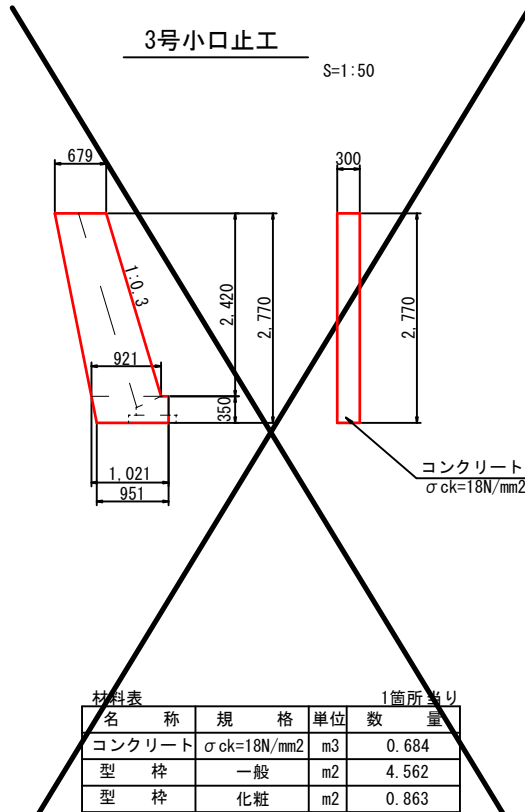
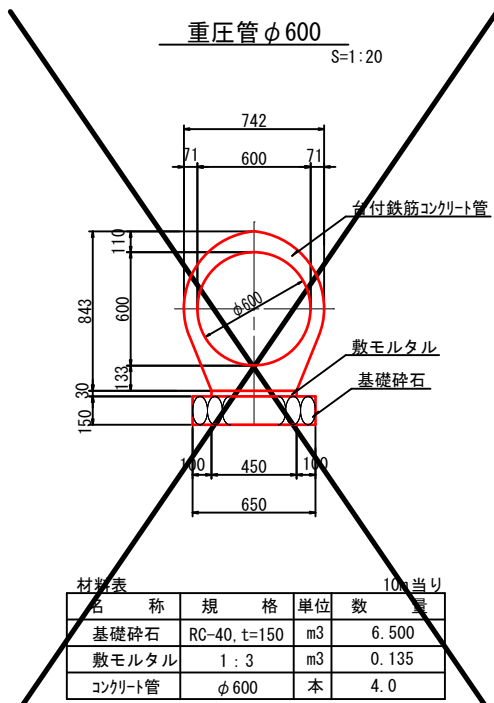
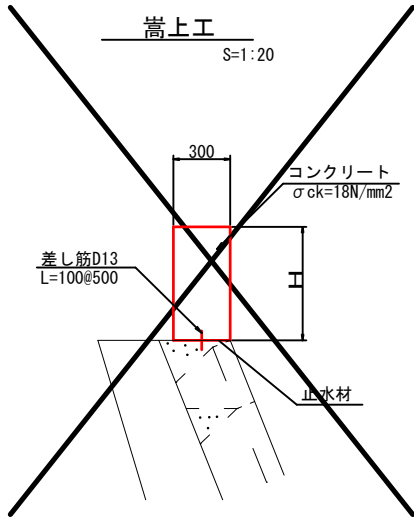
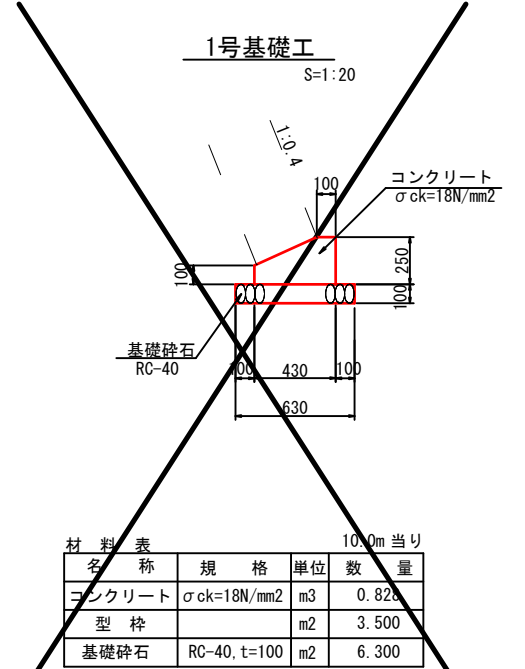
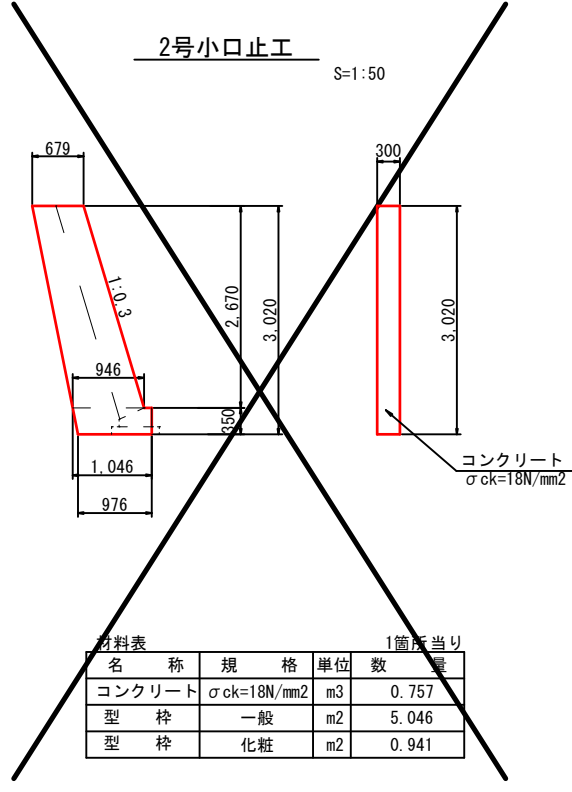
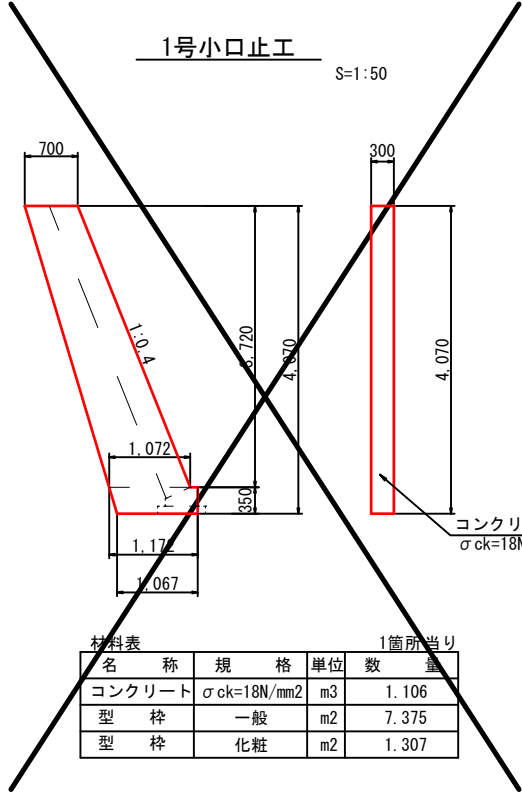
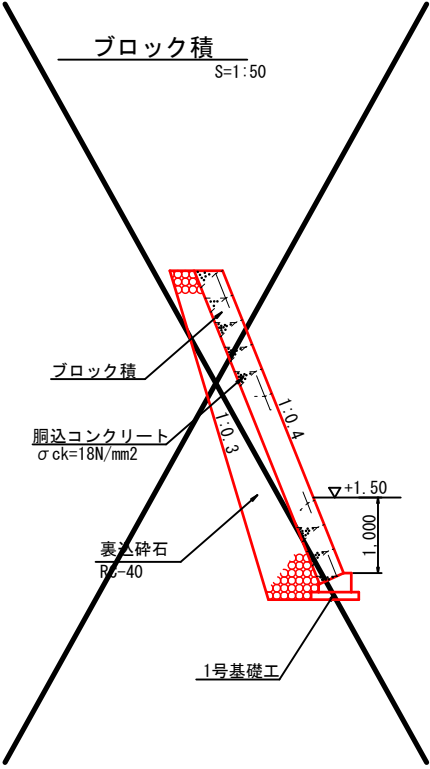
根継工展開図



根継工展開図



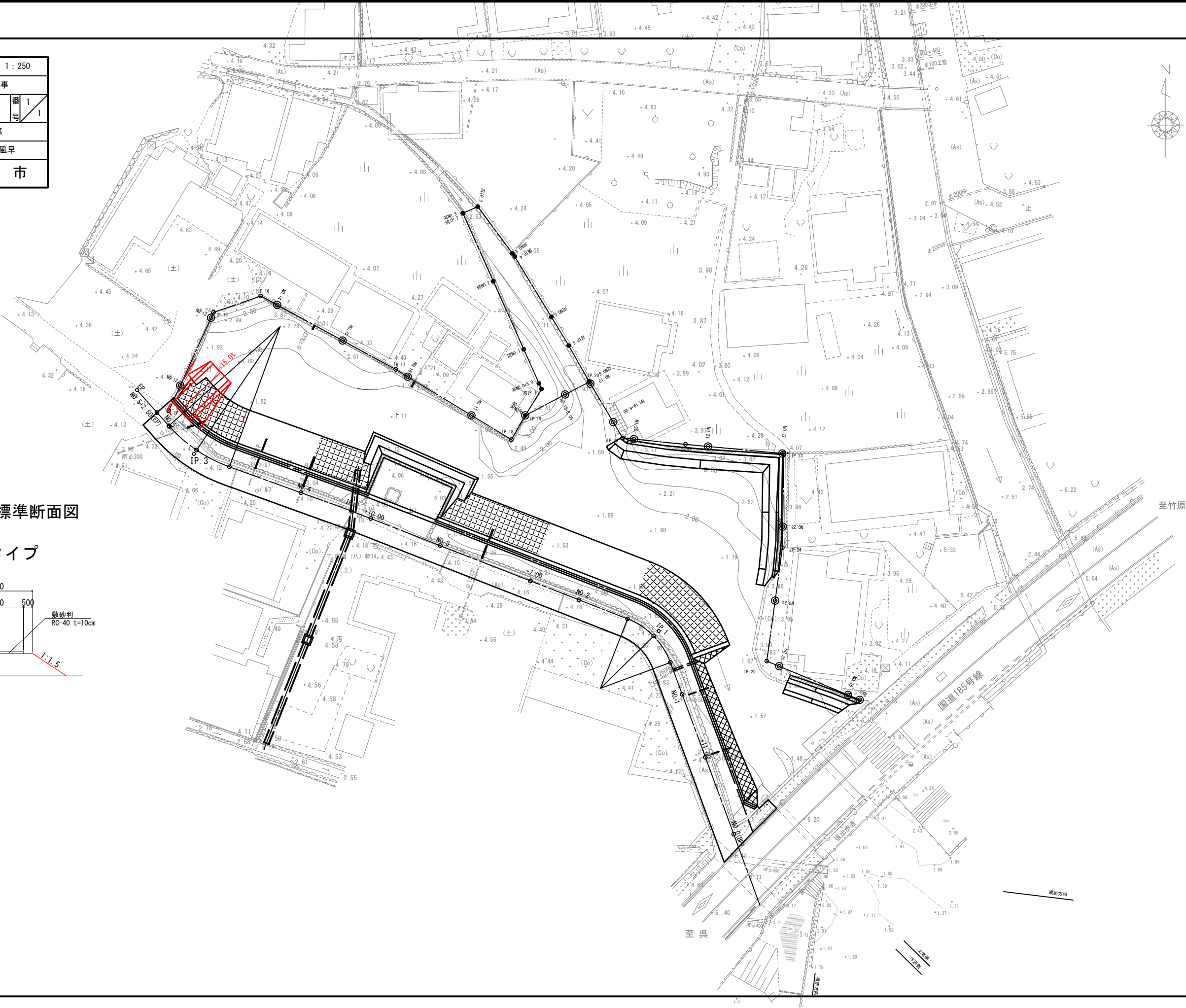
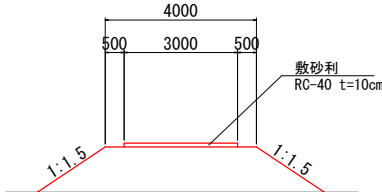
図面番号	5 / 7	縮 尺	図 示
工 種	吉末川護岸整備工事		
種 別	構 造 図	番 号	
地 区 名	風 早 地 区		
工事箇所	東広島市安芸津町風早		
東 広 島 市			

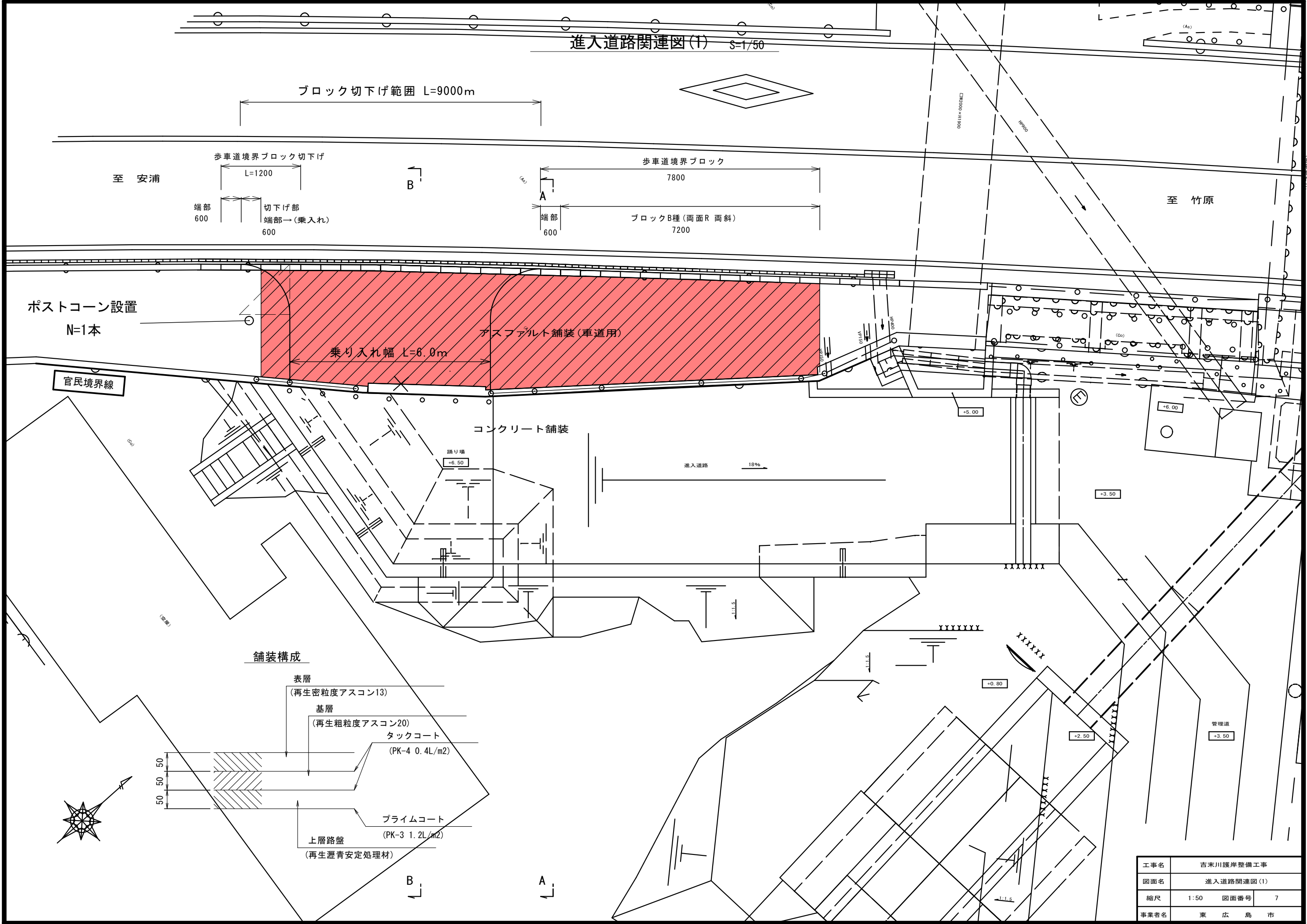


図面番号	6 / 7	縮 尺	1 : 250
工 種	吉末川護岸整備工事		
種 別	仮設計画図(参考図)	番 号	1 / 1
地 区 名	風 早 地 区		
工事箇所	東広島市安芸津町風早		
東 広 島 市			

工事用道路標準断面図

盛土タイプ





参 考 図 書

工 事 名 称 : 令和8年度 治水対策事業
吉末川護岸整備工事

<注意事項>

- 1 本工事は、数量公開の対象工事です。
- 2 この数量書は適正な積算のための参考指標として数量を示すものです。
数量は参考数量であり、設計図書ではありません。内容の如何にかかわらず、
契約上の拘束をするものではありません。
- 3 その他
 - ・当該工事により発生する建設発生土は、公の関与する埋立地、広島県制定の建設発生土処分先一覧表に掲載されている建設発生土リサイクルプラント、建設発生土受入地又は建設発生土受入地（一時たい積）のいずれかに搬出するものとしている。搬出先として次の施設を見込んでいる。

種別	施設の名称	所在地	運搬距離 (km)
砂・砂質土・ 礫質土	株式会社中岡建設リサイクルプラント	東広島市安芸津町 木谷1218-7	4.3

- ・当該工事により発生するAs殻は、広島県制定の再資源化施設一覧表に掲載されている施設に搬出するものとする。搬出先として、次の施設を見込んでいる。

種別	施設の名称	所在地	運搬距離 (km)
As殻	光陽産業(株)安芸津工場	東広島市安芸津町 大田180-1	3.9

- ・水替え日数は5日を見込んでいる。

総括情報表

頁0 -0001

変更回数 適用単価地区 単価適用日	0 51 東広島市(安芸津) 00-08.06.01(0)		凡例 Co …コンクリート As …アスファルト DT …ダンプトラック BH …バックホウ CC …クローラクレーン TC …トラッククレーン RTC…ラフテレーンクレーン
諸経費体系	1 公共(一般)		
	当世代	前世代	
工種 施工地域・工事場所区分 復興補正区分 週休補正区分 現場事務所等の貸与区分 I C T補正区分 冬期補正係数 緊急工事区分 前払金支出割合区分 契約保証区分	03 海岸（一般土木）工事 00 補正なし 00 補正なし 09 閉所型・月単位 00 補正なし 00 補正なし 00 補正なし 00 通常工事 0 % 00 補正無し 01 金銭的保証(0.04%)		
建設技能労働者や交通誘導員等の現場労働者にかかる経費として，労務費のほか各種経費（法定福利費の事業者負担額，労務管理費，安全訓練等に要する費用等）が必要であり，本積算ではこれらを現場管理費等の一部として率計上している。			

本工事費 内訳表

頁0 -0002

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
本工事費					X1000
築堤・護岸					Y1A01 レベル1
	1	式			
河川土工					Y1A0101 レベル2
	1	式			
掘削工					Y1A010101 レベル3
	1	式			
掘削 土砂					Y1A01010101 レベル4
	50	m3			
掘削 土砂 上記以外(小規模) 標準					SPK25040001 00
	50	m3			単第0 -0001 表
盛土工					Y1A010103 レベル3
	1	式			
積込(ルーズ) 土砂					Y1A01010306 レベル4
	30	m3			
積込(ルーズ) 土砂 小規模(標準)					SPK25040007 00
	30	m3			単第0 -0002 表

本工事費 内訳表

頁0 -0003

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
法覆護岸工					Y1A0107 レベル2
	1	式			
作業土工					Y1A010701 レベル3
	1	式			
床掘り 土砂					Y1A01070102 レベル4
	20	m3			
床掘り 土砂 上記以外(小規模)					SPK25040015 00
	20	m3			単第0 -0003 表
埋戻し 土砂					Y1A01070103 レベル4
	10	m3			
積込(ルーズ) 土砂 小規模(標準)					SPK25040007 00
	10	m3			単第0 -0002 表
法面整形(切土部) レキ質土,砂及び砂質土,粘性土					Y1A01010601 レベル4
	30	m2			
法面整形 切土部 現場制約無し レキ質土,砂及び砂質土,粘性土					SPK25040025 00
	30	m2			単第0 -0004 表
根継工					Y3999 レベル3
	1	式			

本工事費 内訳表

頁0 -0004

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
根継工 18-8-40BB	12	m			Y4999 レベル4
コンクリート 無筋・鉄筋構造物 18-8-40BB バックホウ(クレーン機能付)打設	25	m3			SPK25040157 00 単第0 -0005 表
型枠 一般型枠 鉄筋・無筋構造物	44	m2			SPK25040159 00 単第0 -0006 表
小型水路工	1	式			Y2999 レベル2
管渠工	1	式			Y3999 レベル3
暗渠排水管 硬質ポリ塩化ビニル管 VP 呼び径50mm	1	m			Y1E01090403 レベル4
暗渠排水管 据付 直管 50～150mm 硬質ポリ塩化ビニル管 VP 呼び径50mm	1	m			SPK25040093 00 単第0 -0007 表
構造物撤去工	1	式			Y1A0114 レベル2
防護柵撤去工	1	式			Y1A011401 レベル3

本工事費 内訳表

頁0 -0005

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
防護柵撤去(ガードレール)	5	m			Y1A01140101レベル4
防護柵設置工(Gr) 防護柵撤去 土中建込 A,B,C(支柱間隔4m)	5	m			SS000127 00 単第0 -0008 表
構造物取壊し工	1	式			Y1A011406 レベル3
舗装版切断 アスファルト舗装版厚15cm以下	6	m			Y1A01140602レベル4
舗装版切断 アスファルト舗装版 アスファルト舗装版厚15cm以下	6	m			SPK25040307 00 単第0 -0009 表
舗装版破碎 アスファルト舗装版 舗装版厚15cm以下	54	m2			Y1A01140603レベル4
舗装版破碎積込(小規模土工)	54	m2			SPK25040018 00 単第0 -0010 表
運搬処理工	1	式			Y1A011416 レベル3
殻運搬 アスファルト殻	5	m3			Y1A01141601レベル4

本工事費 内訳表

頁0 -0006

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
殻運搬 舗装版破碎 DID区間無し 運搬距離4.5km以下(3.5km超)	5	m3			SPK25040155 00 単第0 -0011 表
殻処分 アスファルト殻	13	t			Y1A01141602レベル4
【直接工事費に含まれる処分費等】 「処分費等」の取扱いによる					#0041
アスファルト殻 光陽産業(株) 安芸津工場	13	t			F000000100 00
仮設工	1	式			Y1A0115 レベル2
水替工	1	式			Y1A011506 レベル3
ポンプ排水	5	日			Y1A01150601レベル4
ポンプ設置・撤去	1	箇所			SHD10037 00 単第0 -0012 表
ポンプ運転 排水量_0以上120未満(m3/h) 全揚程_10m 作業時排水	5	日			S1050053 00 単第0 -0014 表

本工事費 内訳表

頁0 -0007

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
舗装					Y1E02 レベル1
	1	式			
道路土工					Y1E0201 レベル2
	1	式			
掘削工					Y1E020101 レベル3
	1	式			
掘削 土砂					Y1E02010101 レベル4
	3	m3			
掘削 土砂 上記以外(小規模) 標準以外					SPK25040001 00
	3	m3			単第0 -0017 表
残土処理工					Y1E020110 レベル3
	1	式			
土砂等運搬 土砂					Y1E02011002 レベル4
	3	m3			
土砂等運搬 小規模 土砂(岩塊・玉石混り土含む) D1D区間無し 距離4.5km以下(3.5km超)					SPK25040002 00
	3	m3			単第0 -0018 表
残土等処分 土砂					Y1E02011003 レベル4
	3	m3			

本工事費 内訳表

頁0 -0008

費目・工種・施工名称など 【直接工事費に含まれる処分費等】 「処分費等」の取扱いによる	数量	単位	単価	金額	備考
					#0041
残土処分費 砂・砂質土・礫質土 株式会社中岡建設リサイクルプラント	3	m3			F000000200 00
舗装工					Y1E0204 レベル2
	1	式			
アスファルト舗装工					Y1E020404 レベル3
	1	式			
上層路盤(車道・路肩部) 再生瀝青安定処理材 t=5cm					Y1E02040403 レベル4
	54	m2			
上層路盤(車道・路肩部) 再生瀝青安定処理材 平均幅員1.4m以上3.0m以下					SPK25040237 00
	54	m2			単第0 -0019 表
基層(歩道部) 再生粗粒度As20 t=5cm					Y1E02040406 レベル4
	54	m2			
基層(歩道部) 平均幅員1.4m以上 1層当り平均仕上厚50mm					SPK25040245 00
	54	m2			単第0 -0020 表
表層(歩道部) 再生密粒度As13 t=5cm					Y1E02040410 レベル4
	54	m2			

本工事費 内訳表

頁0 -0009

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
表層(歩道部) 平均幅員1.4m以上 1層当り平均仕上厚50mm	54	m2			SPK25040247 00 単第0 -0021 表
仮設工	1	式			Y1E0215 レベル2
交通管理工	1	式			Y1E021521 レベル3
交通誘導警備員	6	人			Y1E02152101 レベル4
交通誘導警備員A	2	人			R0368 00
交通誘導警備員B	4	人			R0369 00
工事用道路	1	式			Y3999 レベル3
工事用道路	1	式			Y4999 レベル4
路床盛土 施工幅員2.5m以上4.0m未満	20	m3			SPK25040005 00 単第0 -0022 表

本工事費 内訳表

頁0 -0010

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
敷砂利 再生クラッシャーラン (RC-40)	2	m3			S0283 00 単第0 -0023 表
補足土	20	m3			V000000100 00 単第0 -0025 表
* * 直接工事費 * * #0020計=支給品等(材料),無償貸付					
共通仮設費率分					Z0019
計算情報..... 対象額..... 率.....					
* * 共通仮設費計 * *					
* * 純工事費 * *					
現場管理費 計算情報..... 対象額..... 率.....					
* * 工事原価 * *					

本工事費 内訳表

頁0 -0011

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
一般管理費率分 計算情報..... 対象額..... 率.....					前払補正率...
契約保証費 計算情報..... 対象額..... 率.....					当初請対額 当初対象額
一般管理費計					
* * 工事価格 * *					
* * 消費税相当額 * * 計算情報..... 対象額..... 率.....					
* * 工事費計 * *					
* * 契約保証費計 * *					

施工単価表

掘削
土砂 上記以外(小規模)
機械構成比: 26.01% 労務構成比: 62.89% 標準
SPK25040001
材料構成比: 11.10% 市場単価構成比: 0.00% 単第0 -0001 表
1
標準単価: 1,241.00000 m3 当り

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
バックホウ(クローラ型) 標準型・排2 山積0.28/平積0.2m3	26.01%		バックホウ(クローラ型) 標準型・排2 山積0.28/平積0.2m3		MTPC00062 MTPT00062
運転手(特殊)	62.89%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
軽油 パトロール給油,2～4KL積載車給油	11.10%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1 土砂 E=7 標準			B=5 上記以外(小規模)		

施工単価表

積込(ルーズ)
土砂
機械構成比: 26.01% 労務構成比: 62.89% 材料構成比: 11.10% 市場単価構成比: 0.00%

SPK25040007
小規模(標準)

単第0 -0002 表
1
標準単価: 1,093.90000
m3 当り

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
バックホウ(クローラ型) 標準型・排2 山積0.28/平積0.2m3	26.01%		バックホウ(クローラ型) 標準型・排2 山積0.28/平積0.2m3		MTPC00062 MTPT00062
運転手(特殊)	62.89%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	11.10%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1 土砂			B=4 小規模(標準)		

施工単価表

頁0 -0014

床掘り
土砂 上記以外(小規模)
機械構成比: 18.73% 労務構成比: 74.16% 材料構成比: 7.11% 市場単価構成比: 0.00%

単第0 -0003 表

1
標準単価: m3 当り
2,247.40000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
バックハウ(クローラ型) 後方超小旋回型・排2 山積0.28/平積0.2m3	18.73%		バックハウ(クローラ型) 後方超小旋回型・排2 山積0.28/平積0.2m3		MTPC00083 MTPT00083
運転手(特殊)	40.26%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
普通作業員	33.90%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	7.11%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1 土砂 E=1 -(全ての費用)			B=5 上記以外(小規模)		

施工単価表

頁0 -0015

法面整形
切土部 現場制約無し
機械構成比: 9.24% 労務構成比: 81.28% 材料構成比: 9.48% 市場単価構成比: 0.00% 標準単価: 918.97000

SPK25040025
レキ質土,砂及び砂質土,粘性土

単第0 -0004 表
1 m2 当り

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
<賃>バックハウ(クローラ型) 山積0.8m3(平積0.6) 排1~3,2011,2014	9.24%		バックハウ クローラ型 山積0.8m3(平積0.6m3)		KTPC00018 KTPT00018
普通作業員	38.72%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
運転手(特殊)	22.32%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
土木一般世話役	20.24%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	9.48%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=2 切土部 D=2 レキ質土,砂及び砂質土,粘性土			C=2 現場制約無し E=1 -(全ての費用)		

施工単価表

頁0 -0016

コンクリート

SPK25040157

単第0 -0005 表

無筋・鉄筋構造物 18-8-40BB

バックホウ(クレーン機能付)打設

1

m3 当り

機械構成比: 3.50%

労務構成比:

34.96%

材料構成比:

61.54%

市場単価構成比:

0.00%

標準単価:

36,531.00000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
<賃>バックホウ(クローラ型クレーン機能付) 山積0.8m3(平積0.6)吊能力2.9t 排1~3,2011,2014	3.31%		バックホウ [クローラ型クレーン付] 排ガス型(第2次)山積0.8m3吊2.9t		KTPC00006 KTPT00006
その他(機械)			その他(機械)		EK009
特殊作業員	10.07%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
普通作業員	9.38%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	7.04%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
運転手(特殊)	6.40%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
その他(労務)			その他(労務)		ER009
レディーミクストコンクリート指定品 呼び強度18,スランプ8,粗骨材40 W/C(60%),種別(高炉)	59.80%		生コンクリート 高炉 24-12-25(20) W/C 55%		TTPCD0010 TTPT00343
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	1.65%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013

施工単価表

頁0 -0017

コンクリート

SPK25040157

单第0 -0005 表

無筋・鉄筋構造物 18-8-40BB

バックホウ(クレーン機能付)打設

1

m3 当り

機械構成比: 3.50%

勞務構成比：

34.96%

材料構成比: 61.54%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価：

36,531.00000

[illegible]

施工単価表

型枠
一般型枠
機械構成比: 0.00%

SPK25040159
鉄筋・無筋構造物
労務構成比: 100.00%

材料構成比: 0.00%

市場単価構成比: 0.00%

単第0 -0006 表

1
標準単価: 10,100.00000

m2 当り

代表機労材規格(積算地区)		構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)		単価(東京地区)	備考
型わく工		46.66%		型わく工			RTPC00010 RTPT00010
普通作業員		25.14%		普通作業員			RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役		9.51%		土木一般世話役			RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)				その他(労務)			ER009
積算単価				積算単価			EP001
A=1 C=1	一般型枠 -(全ての費用)			B=1	鉄筋・無筋構造物		

施工単価表

頁0 -0019

暗渠排水管

据付 直管 50 ~ 150mm

機械構成比: 0.00%

労務構成比:

SPK25040093

硬質ポリ塩化ビニル管 VP 呼び径50mm

51.18%

材料構成比: 48.82%

市場単価構成比: 0.00%

単第0 -0007 表

1
標準単価:

m 当り

837.85000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
普通作業員	36.39%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	14.79%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
一般管(VP)(JISK6741)PE 呼び径50(60×4.1) 参考質量1.122kg/m	48.82%		暗渠排水管 直管 呼び径75mm ポリエチレン吸水管		TTPCD0391 TTPT00188
積算単価			積算単価		E9999
A=1 据付 C=1 50 ~ 150mm G=1 -			B=1 直管 D=51 硬質ポリ塩化ビニル管 VP 呼び径50mm I=1 -(全ての費用)		

施工単価表

頁0 -0020

防護柵設置工(Gr) 防護柵撤去
土中建込

SS000127

單第0 -0008 表

1 m 当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0021

舗装版切断

SPK25040307

単第0 -0009 表

アスファルト舗装版

アスファルト舗装版厚15cm以下

1 m 当り

機械構成比: 15.05%

労務構成比:

58.43%

材料構成比: 26.52%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

700.44000

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
コンクリートカッター バキューム式(超低騒音型)・湿式 切削深20cm級ブレード径φ56cm	10.24%		コンクリートカッター バキューム式(超低騒音型)・湿式 切削深20cm級ブレード径φ56cm		MTPC00164 MTPT00164
その他(機械)			その他(機械)		EK009
特殊作業員	19.96%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
土木一般世話役	10.88%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
普通作業員	8.92%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
その他(労務)			その他(労務)		ER009
コンクリートカッターブレード 自走式切断機用 径45cm(18インチ)	22.39%		コンクリートカッターブレード 径18インチ		TTPC00394 TTPT00394
ガソリン,レギュラー スタンド渡し,スタンド給油	2.81%		ガソリンレギュラースタンド		TTPC00014 TTPT00014
その他(材料)			その他(材料)		EZ009

施工単価表

頁0 -0022

鋪裝版切断

SPK25040307

單第0 -0009 表

アスファルト舗装版

アスファルト舗装版厚15cm以下

1

m 当り

機械構成比: 15.05%

勞務構成比：

58.43%

材料構成比: 26.52%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価：

700.44000

[illegible]

施工単価表

舗装版破碎積込(小規模土工)

SPK25040018

単第0 -0010 表

機械構成比:20.13%

労務構成比:71.97%

材料構成比:7.90%

市場単価構成比:0.00%

標準単価:¹
1,747.00000

m2 当り

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
小型バックホウ(クローラ型) 標準型・排2 山積0.13/平積0.10m3	20.13%		小型バックホウ(クローラ型) 標準型・排2 山積0.13/平積0.10m3		MTPC00077 MTPT00077
運転手(特殊)	71.97%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
軽油 パトロール給油,2～4KL積載車給油	7.90%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1 -(全ての費用)					

施工単価表

頁0 -0024

殻運搬
舗装版破碎
機械構成比: 20.25% 労務構成比: 71.03% 材料構成比: 8.72% 市場単価構成比: 0.00%

SPK25040155
DID区間無し 運搬距離4.5km以下(3.5km超)

単第0 -0011 表
1
標準単価: 4,319.40000

m3 当り
4,319.40000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 2t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)	20.25%		ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 2t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)		MTPC00016T1 MTPT00016T1
運転手(一般)	71.03%		運転手(一般)		RTPC00007 RTPT00007
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	8.72%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=3 舗装版破碎 C=1 DID区間無し E=1 -(全ての費用)			B=4 機械積込(小規模土工) D=20 運搬距離4.5km以下(3.5km超)		

施工単価表

頁0 -0025

ポンプ設置・撤去

SHD10037

單第0 -0012 表

箇所 当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0026

機-28_バックホウ運転(賃料)
クレーン付2.9t吊 山積0.8m3

S9035

單第0 -0013 表

目 当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0027

ポンプ運転

S1050053

單第0 -0014 表

排水量 0以上120未満(m³/h)

全揚程 10m 作業時排水

目 当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0028

建設用ポンプ(水中ポンプ)運転

S9000045

單第0 -0015 表

口径200mm,揚程10m

11.0kw

目 当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0029

機-16_発動発電機運転
ディーゼル45kVA

S9469
排出ガス対策型3次基準

單第0 -0016 表

1日目 当日

[illegible]

施工単価表

掘削
土砂 上記以外(小規模)
機械構成比: 20.13%
労務構成比: 71.97%
標準以外
SPK25040001
材料構成比: 7.90%
市場単価構成比: 0.00%
単第0 -0017 表
1
標準単価: 2,678.70000
m3 当り

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
小型バックホウ(クローラ型) 標準型・排2 山積0.13/平積0.10m3	20.13%		小型バックホウ(クローラ型) 標準型・排2 山積0.13/平積0.10m3		MTPC00077 MTPT00077
運転手(特殊)	71.97%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
軽油 パトロール給油,2～4KL積載車給油	7.90%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1 E=8 土砂 標準以外			B=5 上記以外(小規模)		

施工単価表

土砂等運搬
小規模 土砂(岩塊・玉石混り土含む)
機械構成比: 20.25% 労務構成比: 71.03% 材料構成比: 8.72% 市場単価構成比: 0.00%

SPK25040002
DID区間無し 距離4.5km以下(3.5km超)

単第0 -0018 表
1
標準単価: 3,322.60000
m3 当り

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 2t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)	20.25%		ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 2t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)		MTPC00016T1 MTPT00016T1
運転手(一般)	71.03%		運転手(一般)		RTPC00007 RTPT00007
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	8.72%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=2 小規模 C=1 土砂(岩塊・玉石混り土含む) F=21 距離4.5km以下(3.5km超)			B=6 バックホウ山積0.13m3(平積0.1m3) D=1 DID区間無し		

施工単価表

頁0 -0032

上層路盤(車道・路肩部)

SPK25040237

単第0 -0019 表

再生瀝青安定処理材

平均幅員1.4m以上3.0m以下

1

m2 当り

機械構成比: 1.14%

労務構成比:

10.57%

材料構成比: 88.29%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

2,707.20000

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
<賃>アスファルトフィニッシャ(ホイール型) 舗装幅1.4～3.0m 排出ガス対策型(第1,2次基準値)低騒音	0.73%		アスファルトフィニッシャ [ホイール型] 舗装幅1.4～3.0m		KTPC00059 KTPT00059
<賃>振動ローラ(搭乗・コンバインド式) 質量3～4t 排出ガス対策型(第1,2次基準値)低騒音	0.15%		振動ローラ(舗装用) [搭乗式コンバインド型] 質量3～4t		KTPC00009 KTPT00009
<賃>タイヤローラ 質量3～4t 排出ガス対策型(第1,2次基準値)低騒音	0.13%		タイヤローラ 質量3～4t		KTPC00057 KTPT00057
その他(機械)			その他(機械)		EK009
普通作業員	3.61%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
運転手(特殊)	2.46%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
特殊作業員	2.41%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
土木一般世話役	0.88%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009

施工単価表

頁0 -0033

上層路盤(車道・路肩部)

再生瀝青安定処理材

機械構成比: 1.14%

労務構成比: 10.57%

材料構成比: 88.29%

市場単価構成比: 0.00%

SPK25040237

平均幅員1.4m以上3.0m以下

単第0 -0019 表

1

標準単価:

m2

当り

2,707.20000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
再生加熱アスファルト安定処理路盤材	83.28%		AS安定処理(40) [標準数量]平均仕上り厚80mm		TTPCD0025 TTPT00356
アスファルト乳剤(JISK2208) アスファルト乳剤(浸透用) PK-3プライムコート用	4.79%		アスファルト乳剤(JISK2208) アスファルト乳剤(浸透用) PK-3プライムコート用		TTPC00026 TTPT00026
軽油 パトロール給油,2～4KL積載車給油	0.20%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
その他(材料)			その他(材料)		EZ009
積算単価			積算単価		E9999
A=2 D=50 H=1 再生瀝青安定処理材 1層当り平均仕上り厚(mm) -(全ての費用)			C=3 F=2 平均幅員1.4m以上3.0m以下 PK-3		
【路盤材単価】 1層当り平均仕上り厚(mm)/1000*路盤材単価(円/t) 1層当り平均仕上り厚(mm):50.000(mm)					

施工単価表

頁0 -0034

基層(歩道部) SPK25040245 単第0 -0020 表
平均幅員1.4m以上 1層当り平均仕上厚50mm 1 m2 当り
機械構成比: 2.40% 労務構成比: 22.56% 材料構成比: 75.04% 市場単価構成比: 0.00% 標準単価: 1,584.20000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
アスファルトフィニッシャ クローラ型 舗装幅1.4～3.0m	1.80%		アスファルトフィニッシャ クローラ型 舗装幅1.4～3.0m		MTPC00052 MTPT00052
<賃>振動ローラ(搭乗・コンバインド式) 質量3～4t 排出ガス対策型(第1,2次基準値)低騒音	0.35%		振動ローラ(舗装用) [搭乗式コンバインド型] 質量3～4t		KTPC00009 KTPT00009
その他(機械)			その他(機械)		EK009
普通作業員	8.52%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
特殊作業員	5.69%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
運転手(特殊)	3.86%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
土木一般世話役	2.07%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009
再生加熱アスファルト混合物 再生粗粒度(20)	71.85%		再生粗粒度As混合物(20) [標準数量]平均仕上り厚50mm		TTPC00023 TTPT00281

施工単価表

頁0 -0035

基層(歩道部)
平均幅員1.4m以上
機械構成比: 2.40%
労務構成比: 22.56%
材料構成比: 75.04%
市場単価構成比: 0.00%

SPK25040245
1層当り平均仕上厚50mm

単第0 -0020 表
1
標準単価: 1,584.20000
m2 当り

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
アスファルト乳剤(JISK2208) アスファルト乳剤(浸透用) PK-4タックコート用	2.79%		アスファルト乳剤(JISK2208) アスファルト乳剤(浸透用) PK-4タックコート用		TTPC00027 TTPT00027
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	0.36%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
その他(材料)			その他(材料)		EZ009
積算単価			積算単価		E9999
A=3 平均幅員1.4m以上 C=8 再生粗粒度アスコン(20) G=2 小型車割増有 I=1 -(全ての費用)			B=50 1層当り平均仕上り厚(mm) E=1 PK-4 H=1 -		
【アスファルト混合物単価】 1層当り平均仕上り厚(mm)/1000*(アスファルト混合物単価(円)+各種割増合計値) 1層当り平均仕上り厚(mm):50.000(mm)					

施工単価表

頁0 -0036

表層(歩道部)
平均幅員1.4m以上

SPK25040247

単第0 -0021 表

1層当り平均仕上厚50mm

1 m2 当り
標準単価: 1,376.10000

機械構成比: 2.76% 労務構成比: 25.98% 材料構成比: 71.26% 市場単価構成比: 0.00%

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
アスファルトフィニッシャ クローラ型 舗装幅1.4～3.0m	2.07%		アスファルトフィニッシャ クローラ型 舗装幅1.4～3.0m		MTPC00052 MTPT00052
<賃>振動ローラ(搭乗・コンバインド式) 質量3～4t 排出ガス対策型(第1,2次基準値)低騒音	0.40%		振動ローラ(舗装用) [搭乗式コンバインド型] 質量3～4t		KTPC00009 KTPT00009
その他(機械)			その他(機械)		EK009
普通作業員	9.81%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
特殊作業員	6.56%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
運転手(特殊)	4.45%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
土木一般世話役	2.38%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009
再生加熱アスファルト混合物 再生密粒度(13)	67.60%		再生密粒度As混合物(13) [標準数量]平均仕上り厚40mm		TTPC00024 TTPT00293

施工単価表

頁0 -0037

表層(歩道部)
平均幅員1.4m以上
機械構成比: 2.76%
SPK25040247
1層当り平均仕上厚50mm
労務構成比: 25.98%
材料構成比: 71.26%
市場単価構成比: 0.00%
単第0 -0021 表
1
標準単価: 1,376.10000
m2 当り

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
アスファルト乳剤(JISK2208) アスファルト乳剤(浸透用) PK-4タックコート用	3.21%		アスファルト乳剤(JISK2208) アスファルト乳剤(浸透用) PK-4タックコート用		TTPC00027 TTPT00027
軽油 パトロール給油,2～4KL積載車給油	0.41%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
その他(材料)			その他(材料)		EZ009
積算単価			積算単価		E9999
A=3 C=7 G=2 I=1 平均幅員1.4m以上 再生密粒度アスコン(13) 小型車割増有 -(全ての費用)			B=50 E=1 H=1 1層当り平均仕上り厚(mm) PK-4 -		
【アスファルト混合物単価】 1層当り平均仕上り厚(mm)/1000*(アスファルト混合物単価(円)+各種割増合計値) 1層当り平均仕上り厚(mm):50.000(mm)					

施工単価表

頁0 -0038

路床盛土
施工幅員2.5m以上4.0m未満

SPK25040005

単第0 -0022 表

1
標準単価： m3 当り
901.19000

機械構成比： 15.27% 労務構成比： 76.30% 材料構成比： 8.43% 市場単価構成比： 0.00%

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
<賃>振動ローラ(搭乗・コンバインド式) 質量3～4t 排出ガス対策型(第1,2次基準値)低騒音	7.65%		振動ローラ(舗装用) [搭乗式コンバインド型] 質量3～4t		KTPC00009 KTPT00009
<賃>後方超小旋回バックホウ(クローラ型) 山積0.28m3(平積0.2) 排出ガス対策型(第1,2,3次基準値)低騒音	7.62%		バックホウ(クローラ型) [後方超小旋回型] 山積0.28m3(平積0.2m3)		KTPC00054 KTPT00054
運転手(特殊)	67.85%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
普通作業員	8.45%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
軽油 パトロール給油,2～4KL積載車給油	8.43%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=2 施工幅員2.5m以上4.0m未満					

施工単価表

頁0 -0039

敷砂利

S0283

單第0 -0023 表

再生クラッシャーラン (RC-40)

10

m3

当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0040

機-1_バックホウ運転

S9006

單第0 -0024 表

クローラ[標準]山積0.8m³ (平積0.6m³)

排出ガス対策型3次基準

時間 当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0041

補足土

V000000100

單第0 -0025 表

1 m3 当り

[illegible]

施工単価表

頁0 -0042

土砂等運搬

小規模 土砂(岩塊・玉石混り土含む)

機械構成比: 26.52%

SPK25040002

DID区間無し 距離5.0km以下(4.0km超)

労務構成比: 61.90%

材料構成比: 11.58%

市場単価構成比: 0.00%

単第0 -0026 表

1

標準単価:

m3 当り

1,906.50000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 4t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)	26.52%		ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 4t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)		MTPC00017T1 MTPT00017T1
運転手(一般)	61.90%		運転手(一般)		RTPC00007 RTPT00007
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	11.58%		軽油パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=2 小規模 C=1 土砂(岩塊・玉石混り土含む) F=23 距離5.0km以下(4.0km超)			B=5 バックホウ山積0.28m3(平積0.2m3) D=1 DID区間無し		

工 事 数 量 総 括 表 (その1)

費 目	工 種	種 別	細 別	規 格	単 位	数 量	設 計 計上数量	備 考
本工事費								
	土 工							
		掘削	砂質土		m3	45.6	50	
		盛土			m3	34.1	34	
		残土処分						
			砂質土		m3			
	護岸工							
	作業土工							
		床 堀	土 砂		m3	15.4	20	
		埋 戻			m3	11.0	10	
		基面整正			m2	4.4	4	
		切土法面整形			m2	28.1	30	
	護岸工							
		ブロック積	控0.35m		m2			
		裏込碎石	RC-40		m3			
		1号基礎工			m			
	小口止工							
		コンクリート	$\sigma_{ck}=18\text{N/mm}^2$		m3			
		型枠	一般		m2			
		〃	化粧		m2			
	すりつけ工							
		練石積			m2			
	嵩上げ工							
		コンクリート	$\sigma_{ck}=18\text{N/mm}^2$		m3			
		型枠	一般		m2			
		差し筋	D13		kg			
	根継工							
		コンクリート	$\sigma_{ck}=18\text{N/mm}^2$		m3	24.8	25	
		型枠	一般		m2	43.5	44	

工 事 数 量 総 括 表 （その2）

[illegible]

計第		土 量 配 分 表				計 算 書	
切 土						盛 土	
掘削C(SE) =		45.6					
					$37.9 \times 0.90 = 34.1$		
						盛土	B 34.1
作業土工							
床掘	E						
護岸工	15.4						
計	15.4						
					$12.2 \times 0.90 = 11.0$		
						埋戻	Fu 11.0
						護岸工	
						計	11.0
残土処分							
砂質土		0.0	+	0.0	=	0.0	m3

土 工 数 量 計 算 書

測 点	距 離	掘削			盛土									摘 要
		C(SE)	平 均	立 積	B	平 均	立 積		平 均	立 積		平 均	立 積	
(ブロック積)														
NO. 0 (NO. 18)	3. 8													
NO. 0+5. 0	5. 0													
NO. 1	5. 0													
NO. 2	10. 0													
NO. 3	10. 0													
	0. 5													
	1. 5													
	1. 4													
NO. 3	0. 8													
NO. 4	7. 8													
NO. 5	10. 0													
NO. 6	10. 0													
NO. 19	0. 4													
NO. 19+6. 0	6. 0													
	2. 4													
(根継工)														
NO. 12														
(NO. 13)	9. 4													
	3. 8	4. 1			3. 1									
NO. 14	1. 0	4. 1	4. 10	4. 1	3. 1	3. 10	3. 1							
NO. 15	10. 0	4. 2	4. 15	41. 5	3. 1	3. 10	31. 0							
NO. 16	10. 0													
NO. 17	10. 0													
	9. 1													
	3. 2													
NO. 20	4. 5													
NO. 21	10. 0													
NO. 23	18. 9													
	0. 8													
	7. 6													
NO. 26	0. 6													
	1. 6													
				m3			m3							
合計				45. 6			34. 1							

護岸工（根継工）

作 業 土 工

数量計算書

護岸工（根継工）				作 業 土 工				数 量 計 算 書						
測 点	距 離	床 掘			埋 戻（1m≦W1<4m）			基面整正						摘 要
		E (SE)	平 均	立 積	Fu (C)	平 均	立 積	K (SE)	平 均	平 積		平 均	平 積	
根継工														
NO. 12														
(NO. 13)	9.4													
	3.8	1.4			1.0			0.4						
NO. 14	1.0	1.4	1.40	1.4	1.0	1.00	1.0	0.4	0.40	0.4				
NO. 15	10.0	1.4	1.40	14.0	1.0	1.00	10.0	0.4	0.40	4.0				
NO. 16	10.0													
NO. 17	10.0													
	9.1													
	3.2													
NO. 20	4.5													
NO. 21	10.0													
(NO. 22)	9.6													
NO. 23	9.3													
	7.7													
	7.6													
NO. 26	0.6													
		4.1												
		4.1												
		4.2												
		</												

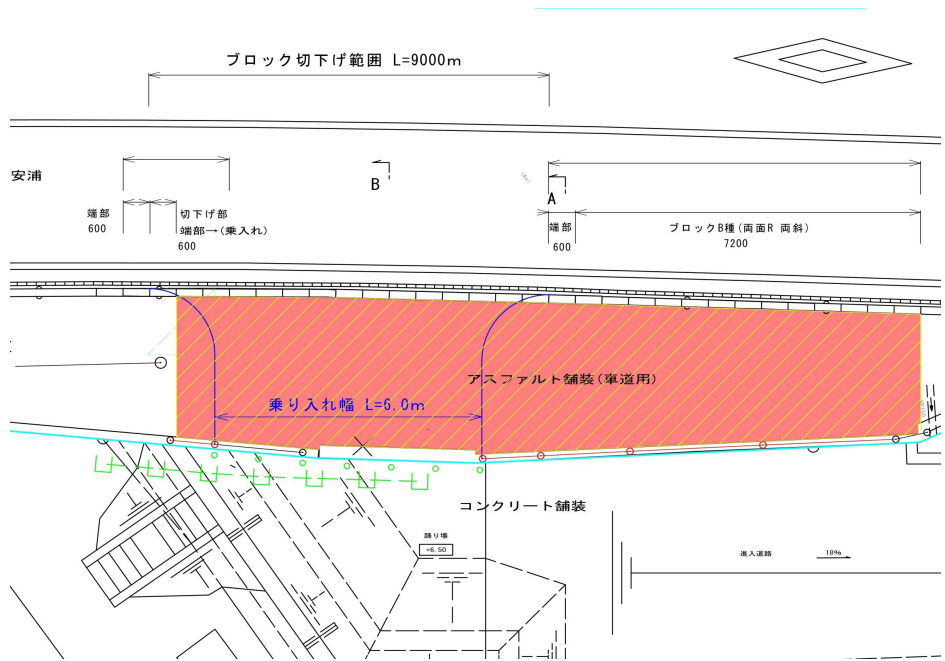
[illegible]

護岸工（根継工）								数　量　計　算　書						
測 点	距 離	根継工（コンクリート）			根継工（型枠）									摘 要
		CV	平 均	立 積	PL	平 均	平 積		平 均	平 積		平 均	平 積	
No. 12														
(No. 13)	10.0													
	5.0	2.04			3.75									
No. 14	1.6	2.11	2.08	3.3	3.75	3.75	6.0							
No. 15	10.0	2.18	2.15	21.5	3.75	3.75	37.5							
No. 16	10.0													
No. 17	10.0													
	7.7													
	1.8													
	(56.1)													
	2.5													
No. 20	2.0													
No. 21	10.0													
(No. 22)	9.6													
No. 23	9.3													
	6.9													
	0.8													
	(41.1)													
	7.6													
No. 26	0.6													
	1.6													
	(9.8)													
	m			m3			m2							
合　計	107.0			24.8			43.5							

舗装工数量

舗装工

数量算出根拠図



名 称	算 式	単位	数 量
掘削	$V = 54.0 \times 0.05$	m ³	2.7
舗装工(アスファルト舗装)	歩道(国) 市 $A = 54.0 +$	m ²	図面(CAD)より 54.0
表層 t=5cm 再生密粒度アスファルト混合物(13)	$A = 54.0$	m ²	54.0
基層 t=5cm 再生粗粒度アスファルト混合物(20)	$A = 54.0$	m ²	54.0
上層路盤 t=5cm 再生アスファルト安定処理材	$A = 54.0$	m ²	54.0
下層路盤 t=20cm クラッシャーラン(RC-40)	$A =$	m ²	
取壊工			
アスファルト舗装			
舗装版切断	$L = 3.2 + 2.5$	m	5.7
舗装版撤去	$A = 54.0$	m ²	54.0
アスファルト殻 (t=100mm)	$V = 54.0 \times 0.10$	m ³	5.4
	$V = 5.4 \times 2.35$	t	12.7

[illegible]

計

